

# 中小企業景況調査報告書

( 第 116回 )

平成21年10～12月期 実 績

平成22年 1～3月期 見通し

平成22年 1 月

北海道商工会議所連合会

# 目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

# 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成21年12月
- (2) 調査対象期間 平成21年10～12月期実績及び平成22年1～3月期の見通し

## 2. 調査対象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

### (2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

## 3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

## 4. 業種別・規模別回答状況（社数）

### (1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	46	59	43	64	59	271
中規模	16	14	25	19	32	106
合計	62	73	68	83	91	377
構成比(%)	16.5	19.4	18.1	22.0	24.0	100.0

### (2) 業界動向調査

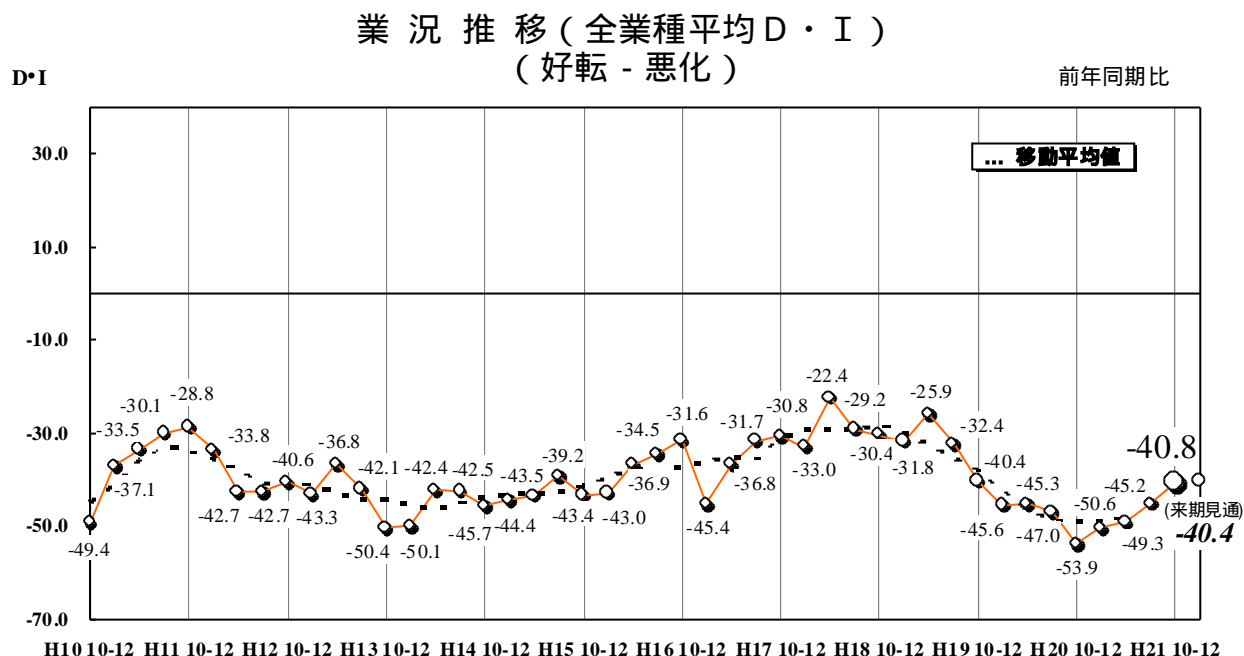
- ・業界動向ヒアリング先 製造業 17社、建設業 14社、卸売業 7社、  
小売業 19社、サービス業 30社、合計 87社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

# 概況

- 4期連続でマイナスD・I値は縮小 -



## 今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（10月～12月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成20年10月～12月期の水準と比較した今期の業況）では 40.8、前期比（平成21年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では 31.6と、引き続き低迷が続いているが、マイナスの幅は前年同期比では4期連続で縮小している。

前回の調査（平成21年7月～9月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前年同期比では前回 45.2 今回 40.8とマイナス幅が縮小した。前期比では前回 31.1 今回 31.6とほぼ横ばい。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 47.4 今回 37.7)、建設(前回 31.0 今回 37.0)、卸売(前回 47.9 今回 32.4)、小売(前回 48.2 今回 52.4)、サービス(前回 51.6 今回 44.3)と、建設業、小売業でマイナス幅が拡大したが、製造業、卸売業、サービス業ではマイナス幅が縮小した。

業況を札幌市とそれ以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 39.3（前回調査 50.3）、札幌以外の地域 42.5（前回調査 39.8）となっており、札幌市ではマイナス幅が縮小したが、札幌以外の地域ではマイナス幅がやや拡大した。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成21年1月～3月期の水準と比較した来期の見通し）では、40.4とマイナスの縮小幅は鈍化する見通し。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」（製造業51.7%、建設業49.3%、卸売業55.4%、小売業37.9%、サービス業39.4%）が大きな要因となっている他、製造業では「製品加工単価の低下・上昇難」（12.5%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（31.1%）、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」（10.8%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（16.2%）、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」（14.9%）などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で13.8%と、前回調査時（11.5%）より2.3%上昇しているが、来期の新規設備投資の予定は全業種平均で7.0%に留まっており、総じて慎重な動きとなっている。

### 産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 37.7（来期見通し 42.9）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成21年7月～9月期）時点からの推移では、前回 47.4 今回 37.7と9.7ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、デフレの影響から製品単価の低下・上昇難による売上の減少や採算の悪化、需要の低迷による景況悪化等の声があった。

〔主なコメント〕

- ・デフレの影響で値下げを求められているが単価を下げるにも限界。（製造業）
- ・デフレのため製品単価の低下から売上は減少。来期は原材料費の上昇が予想され業況は悪化の見通し（乳製品製造業）
- ・天候不順によりもち米・小麦の原料価格が上昇、製品単価を値上げしたため需要が低下、業況が悪化した。（菓子製造業）
- ・観光需要の低迷が続き売上が減少。今後も地域経済の低迷は続き業況の悪化は続く。（酒製造業）
- ・売上が低迷しており、これまでの減少分を取り戻せず業況悪化から脱出できない。（紙製造業）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 37.0（来期見通し 35.3）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成21年7月～9月期）時点からの推移では、前回 31.0 今回 37.0と6.0ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、補正予算による工事の増加により一服感はみられるものの、住宅の新築工事が大幅に減少していることから厳しい状況と業の声が多い。

〔主なコメント〕

- ・秋期に入り公共工事の落札率は少々上がったが、前年同期の受注高までは達せず依然として厳しい状況が続いている。（建設業）
- ・補正予算により公共工事の発注があり業界全体は潤いを見せているが、次年度は厳しい状況が予測される。（建設業）
- ・新規の住宅着工が大幅に落ち込んでいるため、住宅建築業では比較的需要が見込めるリフォーム分野に切り替えて凌いでいる。（建設業）
- ・住宅建設が非常に低迷している。受注を確保できず季節労働者はもとより一般労働者の解雇もせ

ざるを得ない。(建築工事業)

**【卸売業】 [業況D・I値(前年同期比) 32.4(来期見通 37.3)]**

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成21年7月~9月期)時点からの推移では、前回 47.9 今回 32.4と15.5ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞、販売単価の低下などから、業況の悪化を訴えるの声が多かった。

〔主なコメント〕

- ・消費の低迷に加えて降雪も少なく繊維、靴、雑貨等冬物商品の売り上げが低調。国の景気対策も見えず先行き不安。(卸売業)
- ・消費不振で販売単価の低下志向が続き売上は減少した。小売業などの進出による競争激化で来期も厳しい見通し。(食品卸売業)
- ・業況は好転したが、主に人件費削減による利益確保で前向きな好転ではない。来期の売上高は減少の見通し。(青果卸売業)
- ・前年同月比で売上は微増したが利益は横ばい。年末にずれ込んだ公共工事の資材関連の需要が多少あったが、住宅をはじめとする建築件数が少ないため厳しい状況が続いている。(資材卸売)

**【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 52.4(来期見通 46.4)]**

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成21年7月~9月期)時点からの推移では、前回 48.2 今回 52.4と4.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、個人消費の低迷などによる売上の減少、販売単価の低下による採算の悪化、大型店の影響を訴える声が多い。

〔主なコメント〕

- ・クリスマスギフトでの衣料小物の動きは良いが、コートなどアウターの買い控えが多く売上が伸び悩んでいる。例年に比べ集客も減少しており厳しい状況。(衣料小売業)
- ・デフレで販売価格が下降しており、仕入単価は変わらないので利益が出ない。(小売業)
- ・エコポイントが実施されたことにより客単価が上昇した。(家電小売業)
- ・個人消費の減少と大型店の撤退により客足が遠のいていることから、前年同月では売上・利益が減少した。(鮮魚小売業)

**【サービス業】 [業況D・I値(前年同期比) 44.3(来期見通 39.8)]**

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成21年7月~9月期)時点からの推移では、前回 51.6 今回 44.3と7.3ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞、消費者ニーズの多様化、客単価の低下による売上の低下、採算・業況悪化を訴える声がみられた。

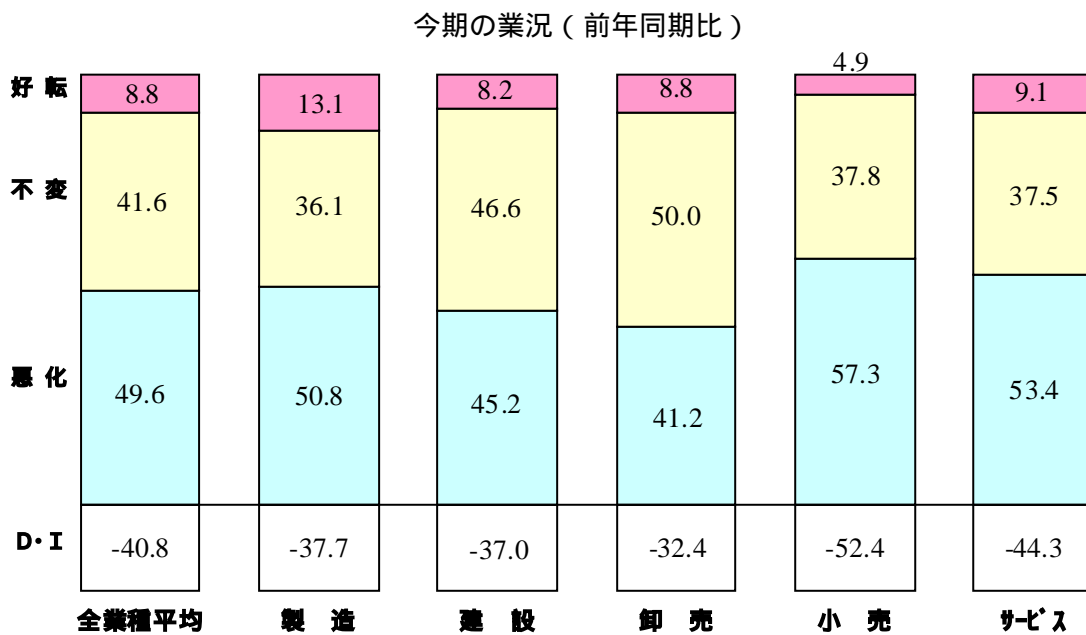
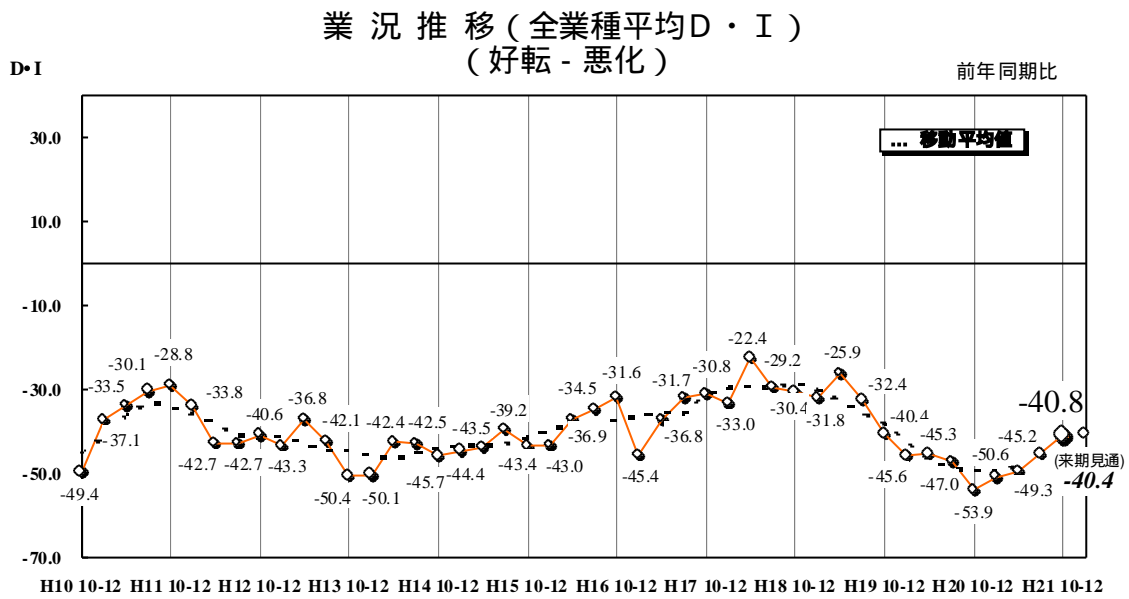
〔主なコメント〕

- ・業界全般に売上・利益の減少が著しい。年末の忘年会の予約もこれまでになく低調。(飲食業)
- ・5人で来店して5品目のオーダーという様に消費者の嗜好が多様化している。手間ばかりかかって利益が減少する。専門店化しなければやっていけない。(飲食店)
- ・利用客は増えたが客単価の下降により売上が減少。来期は閑散期のため厳しい。(宿泊施設)
- ・期待していた年末の繁忙期は、忘年会が減ったため人出が少なく売上が伸びない。(ハイヤー)
- ・天候不順の影響で主力貨物である農産物の輸送が減少し、更に景気低迷・インフルエンザなどの要因から旅客輸送も減少、売上・採算が悪化した。(フェリー)

1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成20年10～12月期の水準と比較した今期の業況）

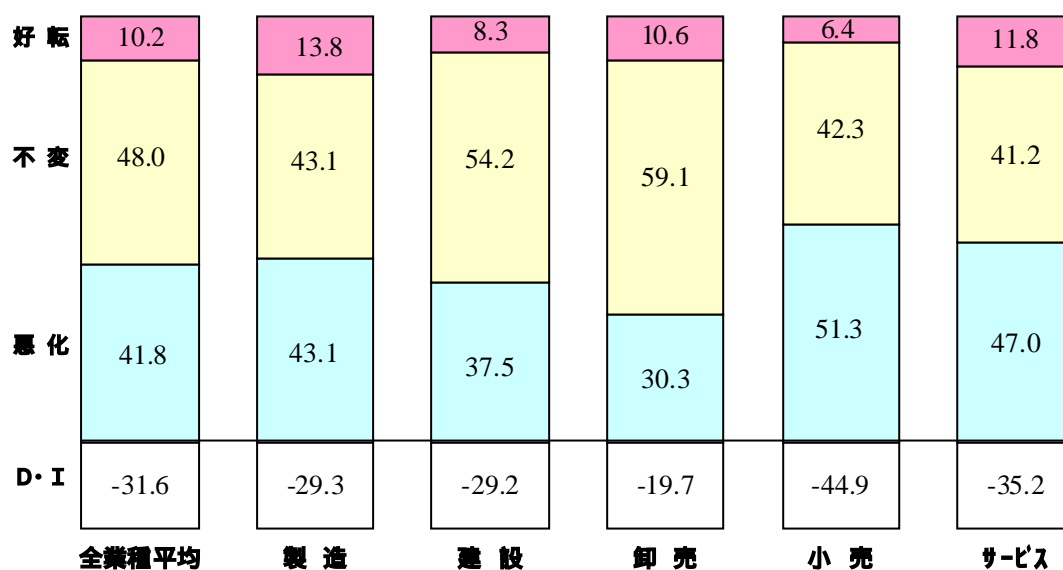


全業種平均でD・I値 **40.8**〔前回調査時（平成21年7～9月期 45.2）より4.4ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 47.4 37.7〕、建設〔前回 31.0 37.0〕  
卸売〔前回 47.9 32.4〕、小売〔前回 48.2 52.4〕  
サービス〔前回 51.6 44.3〕

【前期比】（平成21年7～9月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況（前期比）

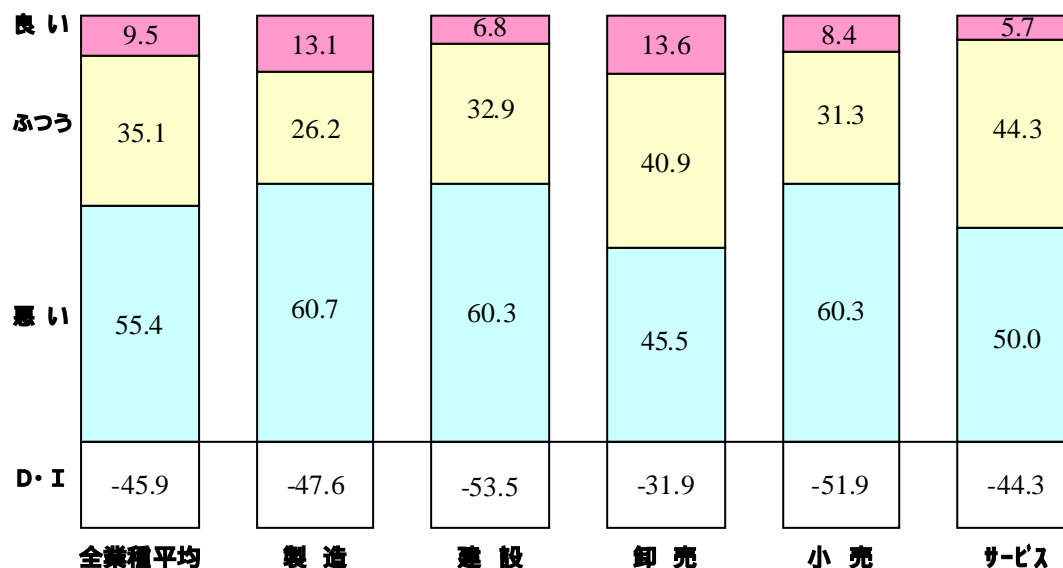


全業種平均でD・I値 **31.6**〔前回調査時（平成21年7～9月期 31.1）より0.5ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 26.3 29.3〕、建設〔前回 18.3 29.2〕  
卸売〔前回 28.5 19.7〕、小売〔前回 44.5 44.9〕  
サービス〔前回 37.9 35.2〕

【今期の水準】

今期の業況（今期の水準）



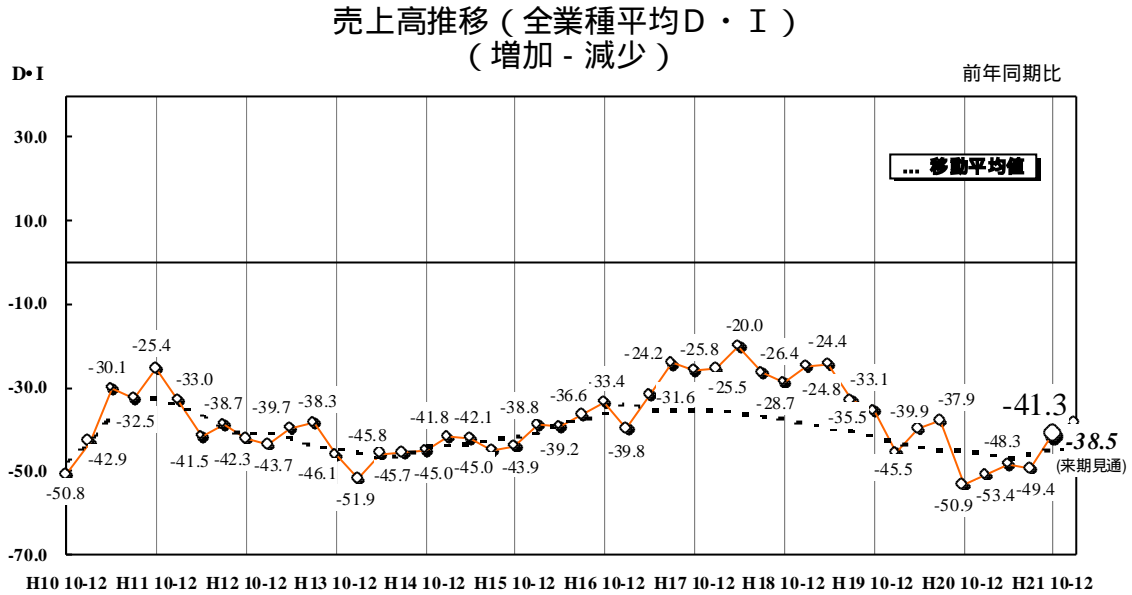
全業種平均でD・I値 **45.9**〔前回調査時（平成21年7～9月期 50.5）より4.6ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 48.3 47.6〕、建設〔前回 38.0 53.5〕  
卸売〔前回 45.7 31.9〕、小売〔前回 59.8 51.9〕  
サービス〔前回 60.7 44.3〕

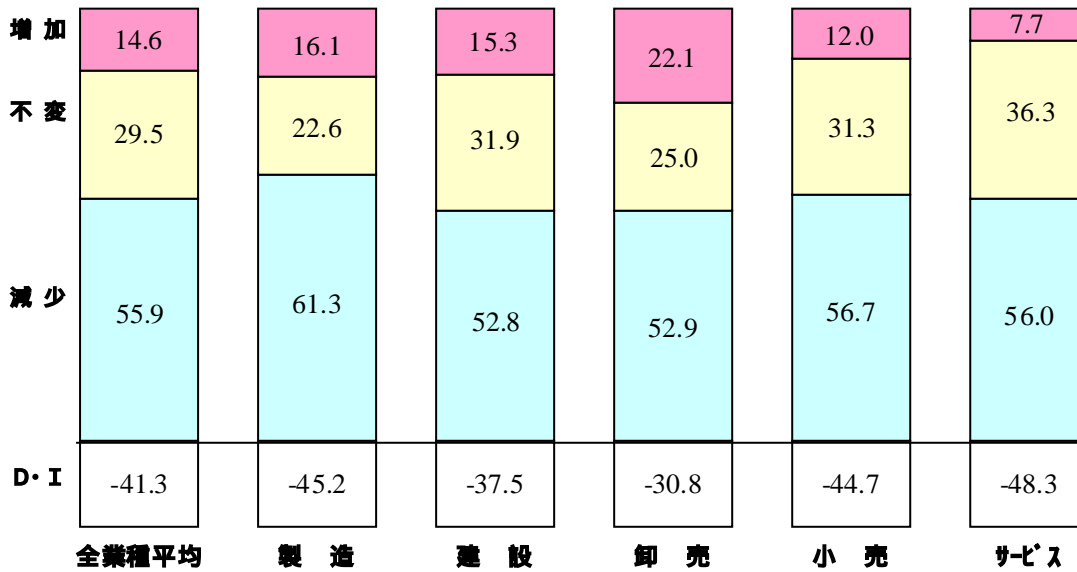


(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成20年10～12月期の水準と比較した今期の売上高）



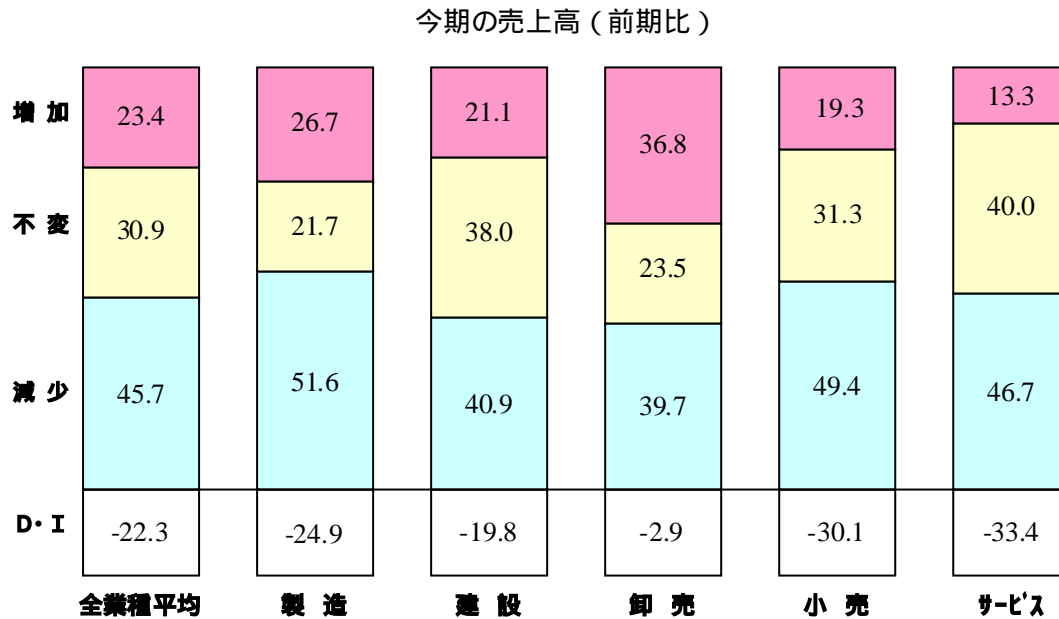
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **41.3**〔前回調査時（平成21年7～9月期 49.4）より8.1ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 46.7 45.2〕、建設〔前回 39.4 37.5〕  
卸売〔前回 55.7 30.8〕、小売〔前回 51.9 44.7〕  
サービス〔前回 53.2 48.3〕

【前期比】（平成21年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）

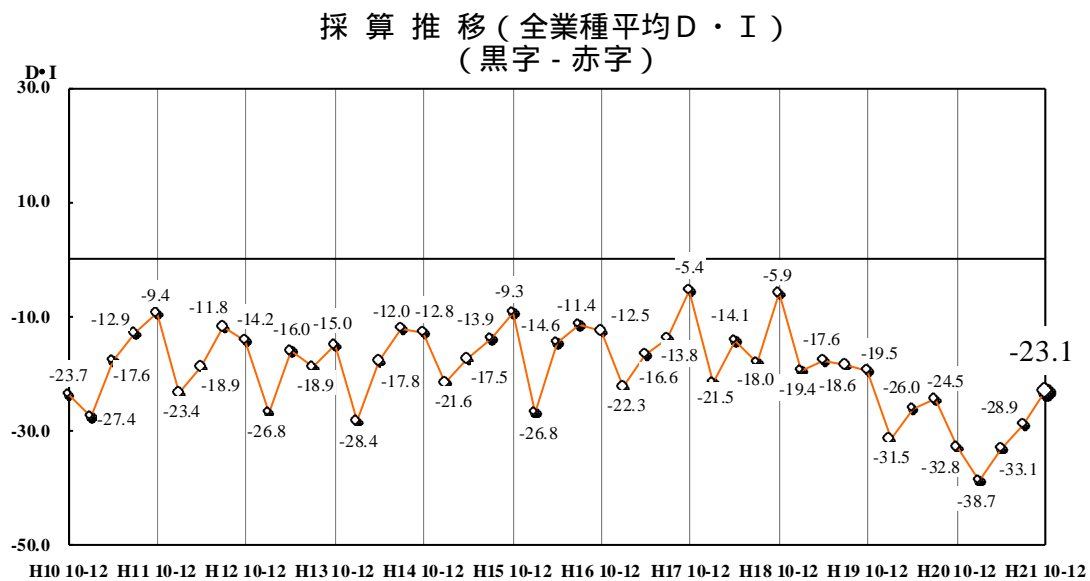


全業種平均でD・I値 **22.3**〔前回調査時（平成21年7～9月期 23.3）より1.0ポイントマイナス幅が縮小〕。

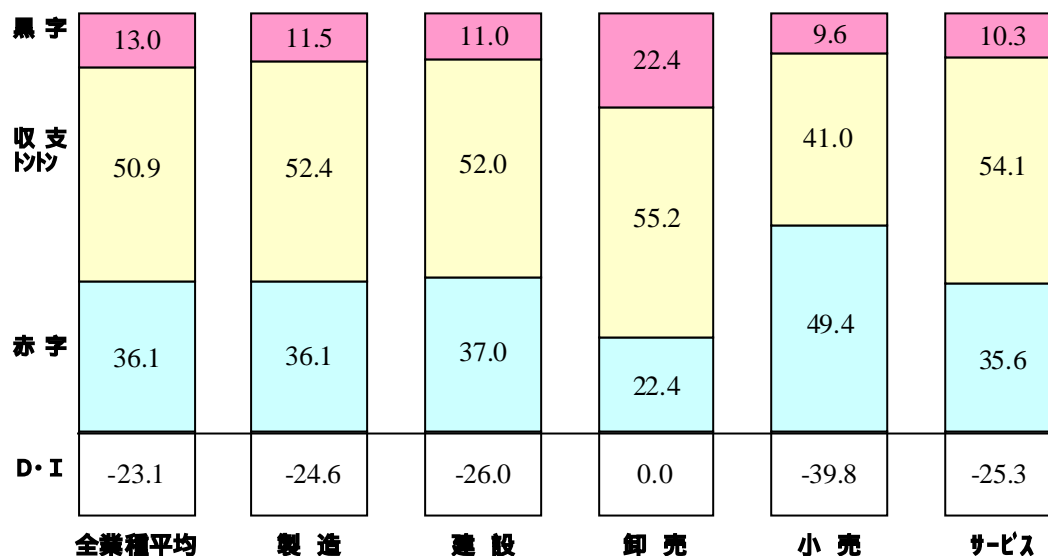
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 25.5 24.9〕、建設〔前回 7.0 19.8〕  
 卸売〔前回 15.9 2.9〕、小売〔前回 33.7 30.1〕  
 サービス〔前回 34.5 33.4〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期の水準】



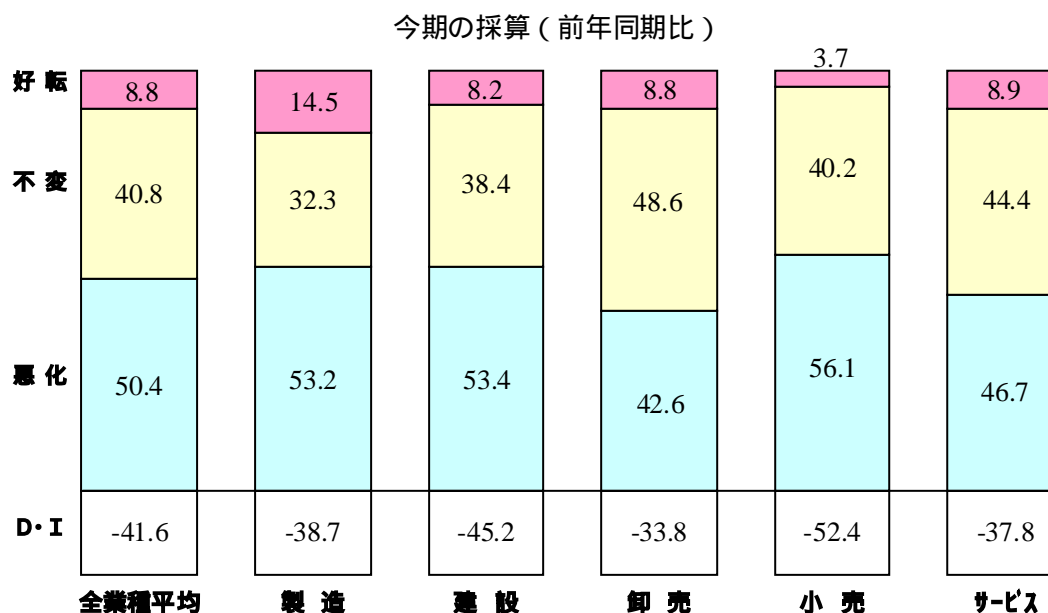
今期の採算（今期の水準）



全業種平均でD・I値 **23.1**〔前回調査時（平成21年7～9月期 28.9）より5.8ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 18.3 24.6〕、建設〔前回 32.3 26.0〕  
卸売〔前回 18.9 0.0〕、小売〔前回 45.0 39.8〕  
サービス〔前回 30.0 25.3〕

【前年同期比】（平成20年10～12月期の水準と比較した今期の採算）

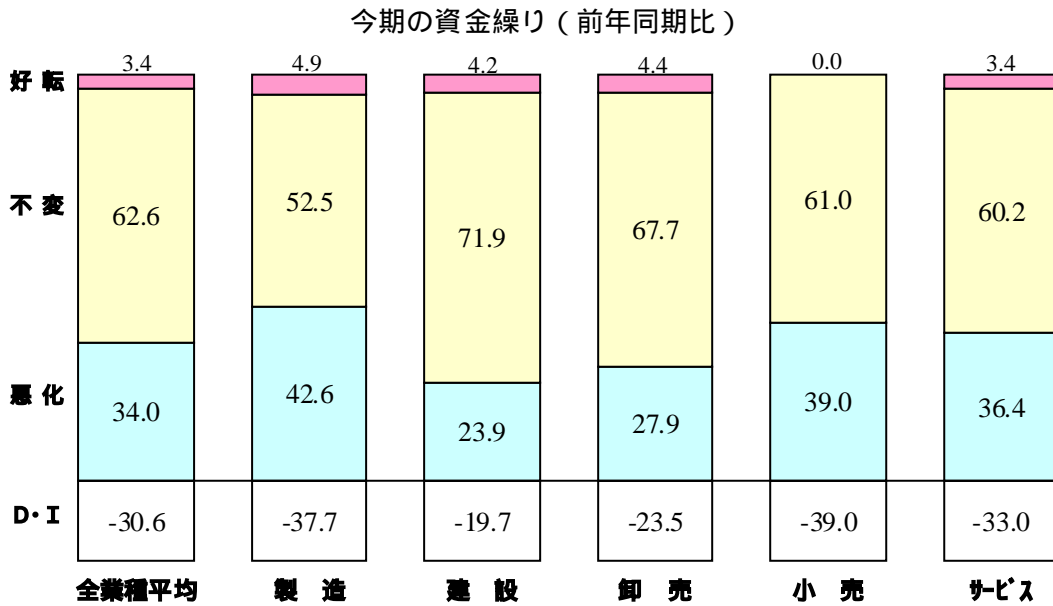
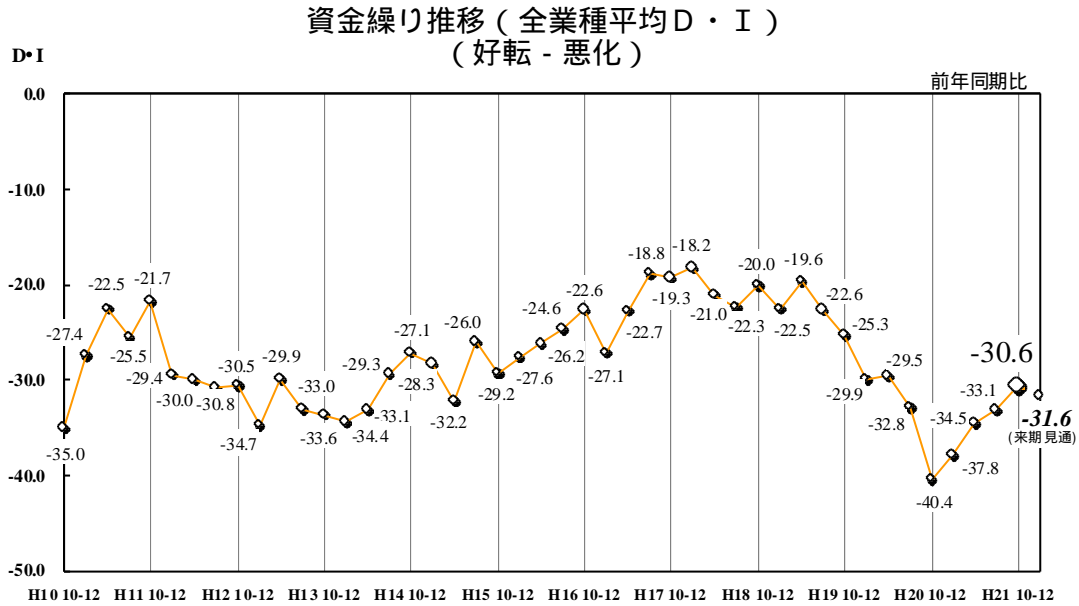


全業種平均でD・I値 **41.6**〔前回調査時（平成21年7～9月期 45.8）より4.2ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 40.6 38.7〕、建設〔前回 44.3 45.2〕  
卸売〔前回 41.4 33.8〕、小売〔前回 48.8 52.4〕  
サービス〔前回 53.8 37.8〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成20年10～12月期の水準と比較した今期の資金繰り）



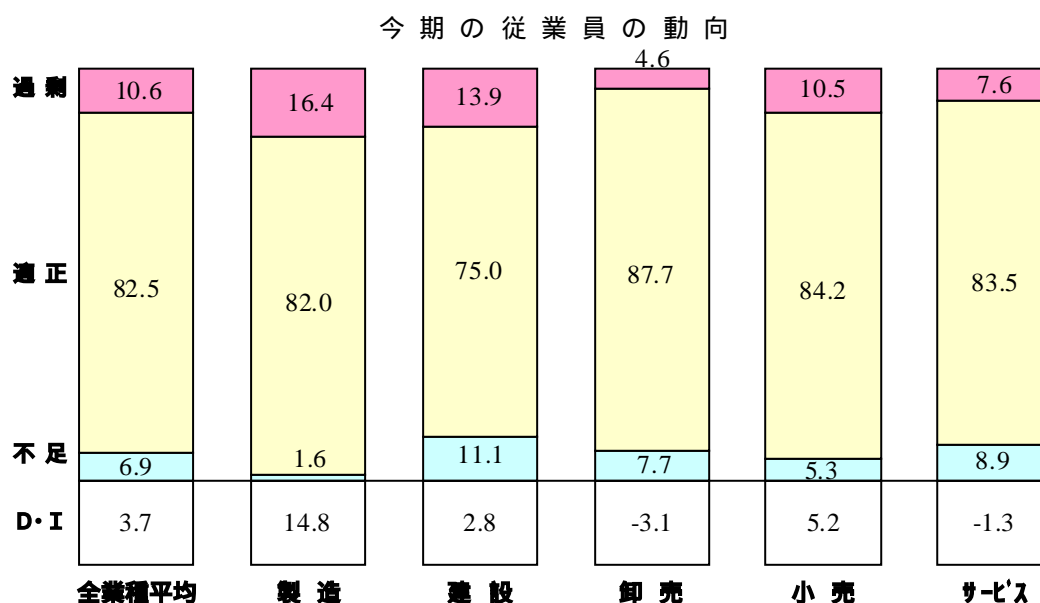
全業種平均でD・I値 **30.6**〔前回調査時（平成21年7～9月期 33.1）より2.5ポイントマイナス幅が縮小〕。前回調査時に比べ、D・Iはマイナス幅が若干縮小しているが、総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 30.5 37.7〕、建設〔前回 28.0 19.7〕  
卸売〔前回 27.6 23.5〕、小売〔前回 40.3 39.0〕  
サービス〔前回 39.1 33.0〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「需要の停滞」	(51.7%)	[前回 46.3%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(12.5%)	[前回 8.9%]
	「製品ニーズの変化への対応」	(7.1%)	[前回 12.5%]
	「原材料価格の上昇」	(7.1%)	[前回 7.1%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(31.1%)	[前回 35.2%]
	「官公需要の停滞」	(25.4%)	[前回 21.7%]
	「民間需要の停滞」	(23.9%)	[前回 27.5%]
卸売業	「需要の停滞」	(55.4%)	[前回 62.4%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(10.8%)	[前回 12.1%]
	「メーカーの進出による競争の激化」	(6.2%)	[前回 3.0%]
	「新規参入業者の増加」	(6.2%)	[前回 0.0%]
小売業	「需要の停滞」	(37.9%)	[前回 33.9%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(16.2%)	[前回 17.5%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(12.5%)	[前回 8.8%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(10.0%)	[前回 8.8%]
サービス業	「需要の停滞」	(39.4%)	[前回 37.4%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(14.9%)	[前回 11.8%]
	「大企業進出による競争の激化」	(9.2%)	[前回 5.9%]
	「利用料金の低下・上昇難」	(6.9%)	[前回 11.8%]

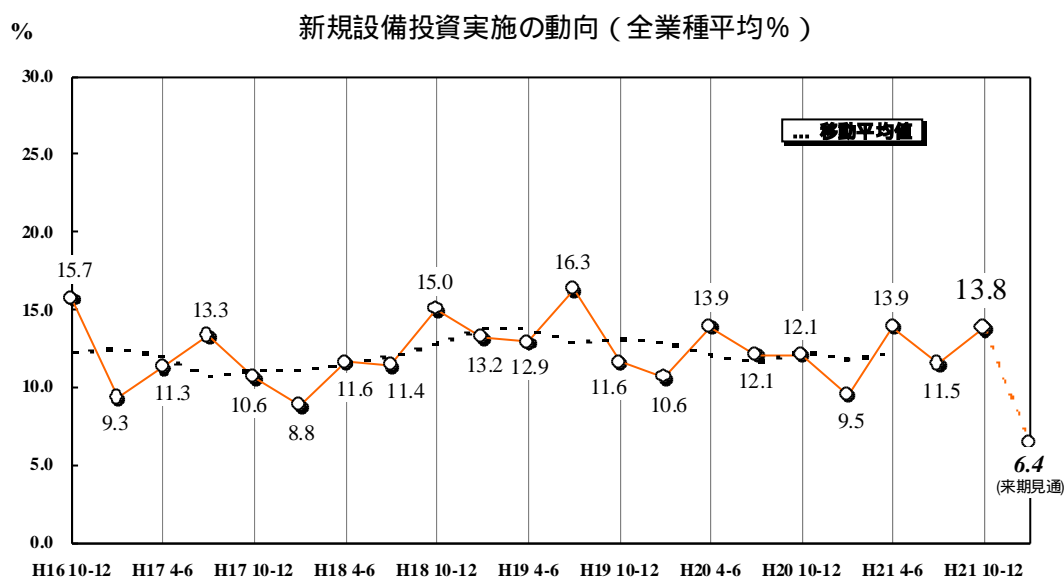
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 3.7〔前回調査時(平成21年7~9月期 1.6)〕と、前回調査時に比べ「過剰」と回答する企業が増加しているが、依然「適正」(82.5%)とする企業が大半を占めている。

- [業種別D・I値] 製造〔前回10.2 14.8〕(適正82.0%)  
 建設〔前回 9.8 2.8〕(適正75.0%)  
 卸売〔前回 5.9 3.1〕(適正87.7%)  
 小売〔前回 1.3 5.2〕(適正84.2%)  
 サービス〔前回 3.7 1.3〕(適正83.5%)

## (7) 今期の新規設備投資



（単位％）

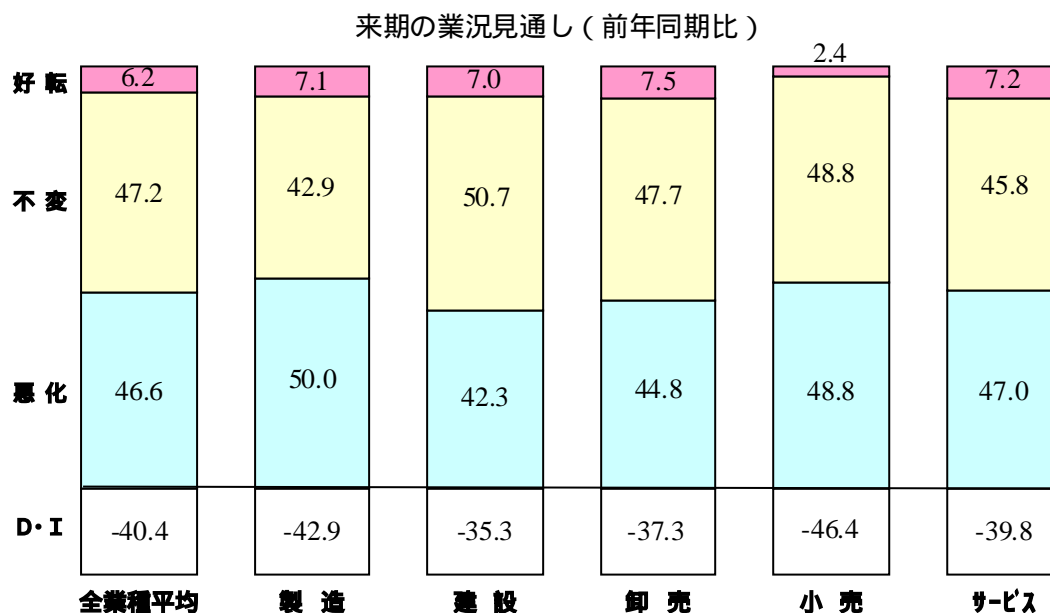
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	19.4	12.3	11.8	3.7	22.0	13.8
土地	0.0	11.1	0.0	33.3	10.0	10.9
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	12.5	33.3	10.0	11.2
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	22.2	12.5	33.3	25.0	28.6
車両運搬具	33.3	44.4	62.5	33.3	35.0	41.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	8.3	11.1	0.0	66.7	25.0	22.2
O A 機器	25.0	33.3	50.0	33.3	25.0	33.3
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.3	0.0	12.5	33.3	5.0	11.8
実施していない	80.6	87.7	88.2	96.3	78.0	86.2

新たに設備投資を実施した企業は平均で13.8%〔前回調査時（平成21年7～9月期11.5%）〕、業種別では製造〔前回16.7% 19.4%〕、建設〔前回9.9% 12.3%〕、卸売〔前回8.5% 11.8%〕、小売〔前回6.1% 3.7%〕、サービス〔前回16.5% 22.0%〕と、小売業では前回調査時の水準を下回ったが、製造業、建設業、卸売業、サービス業については前回調査時の水準を上回った。

## 2. 来期の見通し

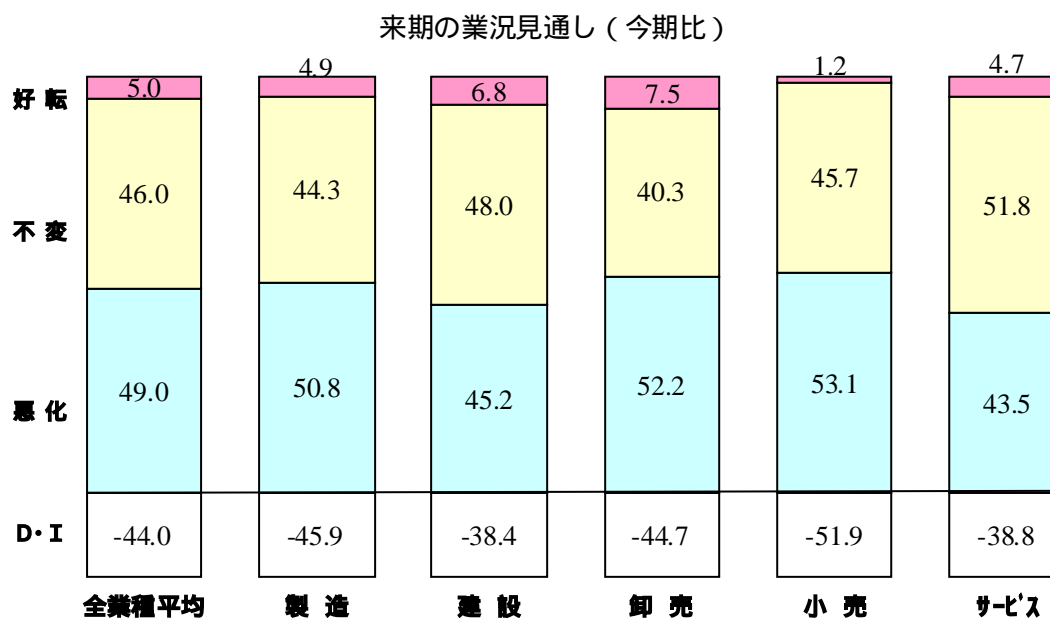
### (1) 来期の業況

【前年同期比】（平成21年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **40.4**〔今期の業況（前年同期比 40.8）より0.4ポイントマイナス幅が縮小〕と、マイナス幅縮小の勢いは鈍化し、業況は依然低迷が続く。

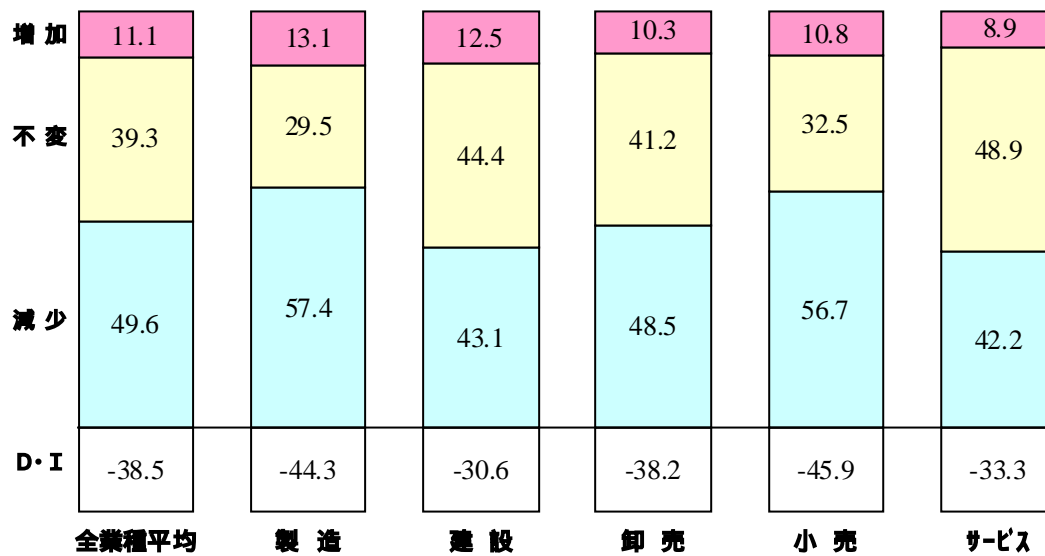
【今期比】（平成21年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成21年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

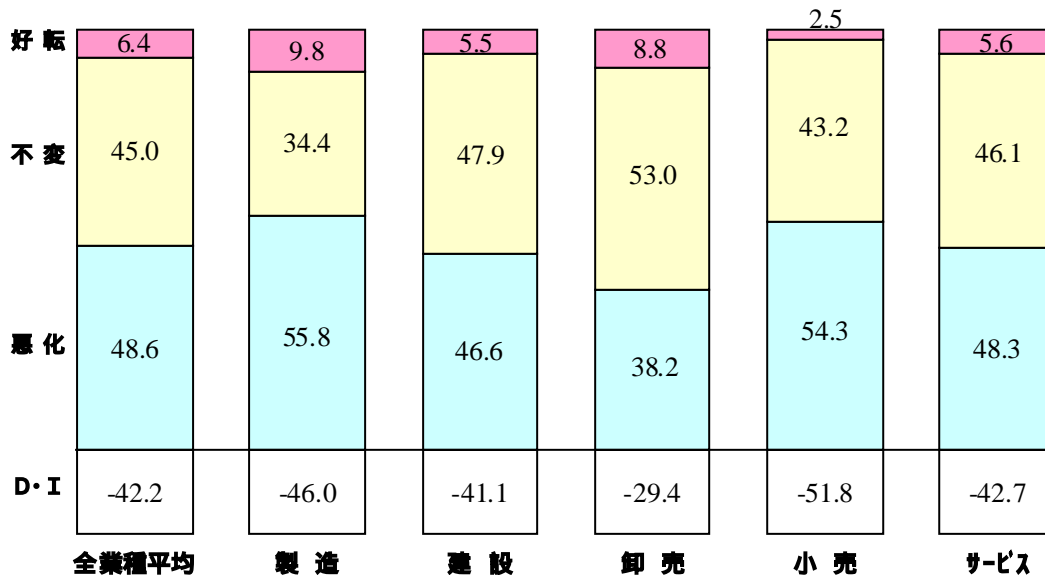


全業種平均でD・I値 **38.5**〔今期の売上高（前年同期比 41.3）より2.8ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成21年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **42.2**〔今期の採算（前年同期比 41.6）より0.6ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。



## (4) 来期の新規設備投資

(単位%)

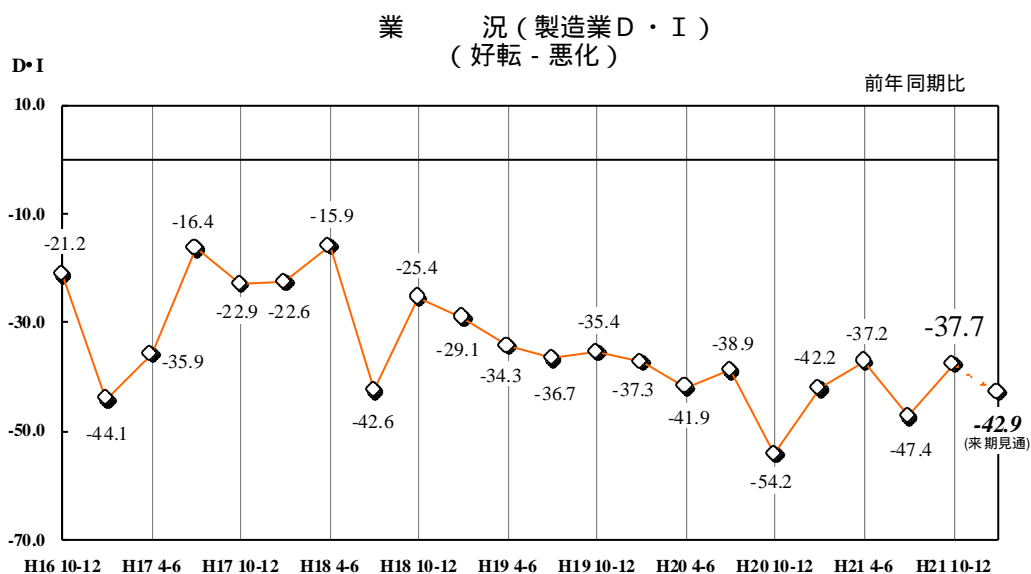
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	6.5	8.2	7.6	4.9	7.8	7.0
土地	0.0	16.7	40.0	0.0	0.0	11.3
工場建物、建物、店舗	0.0	16.7	20.0	50.0	28.6	23.1
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	0.0	0.0	25.0	57.1	26.4
車両運搬具	0.0	66.7	20.0	50.0	14.3	30.2
倉庫・駐車場等の付帯施設	50.0	0.0	0.0	0.0	28.6	15.7
O A 機器	25.0	33.3	60.0	25.0	42.9	37.2
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	5.7
その他	25.0	0.0	20.0	0.0	28.6	14.7
実施しない	93.5	91.8	92.4	95.1	92.2	93.0

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**7.0%**となっており、今期(13.8%)を下回る見通し。

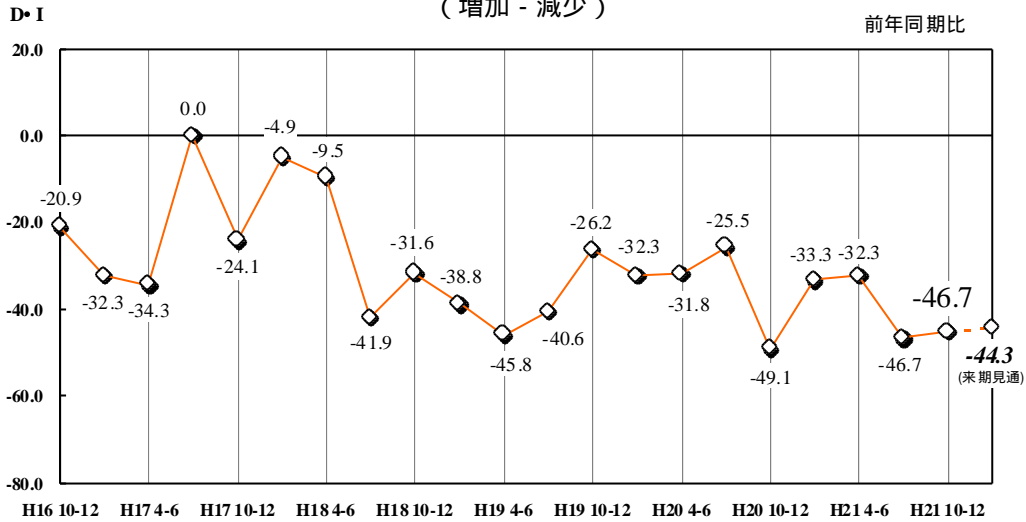
業種別では、製造〔今期19.4% 6.5%〕、建設〔今期12.3% 8.2%〕、卸売〔今期11.8% 4.9%〕、小売〔今期3.7% 4.9%〕、サービス〔今期22.0% 7.8%〕となっている。

## 業種別の動向

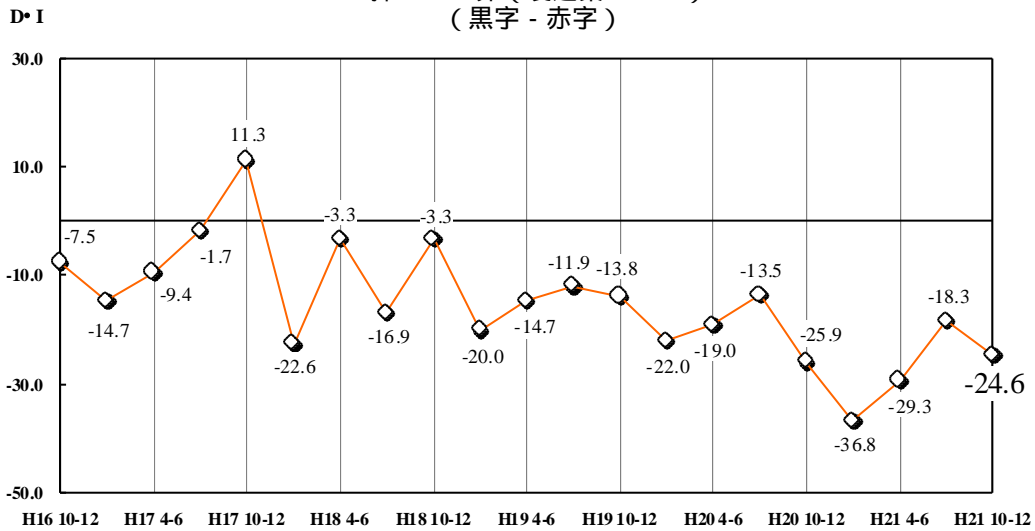
### (1) 製造業



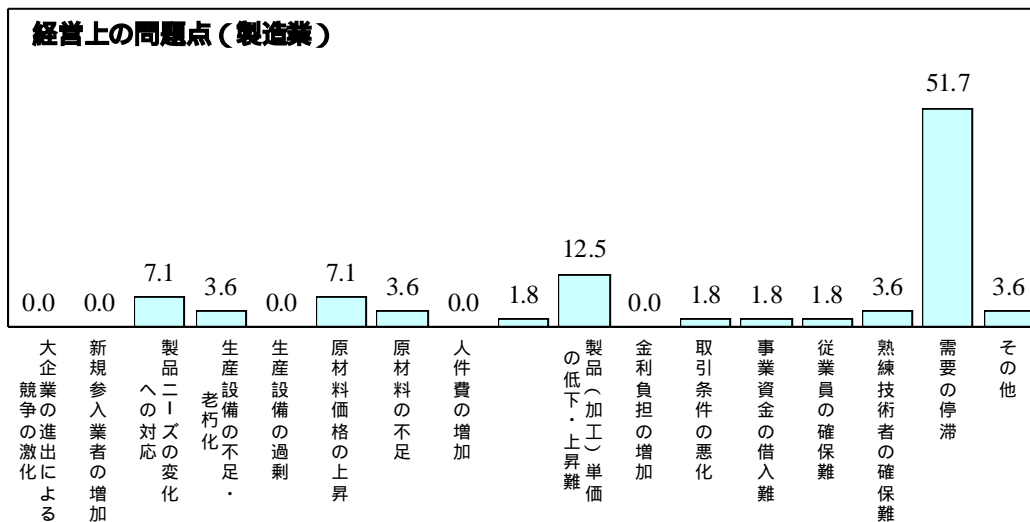
売上高（製造業D・I）  
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）  
（黒字 - 赤字）



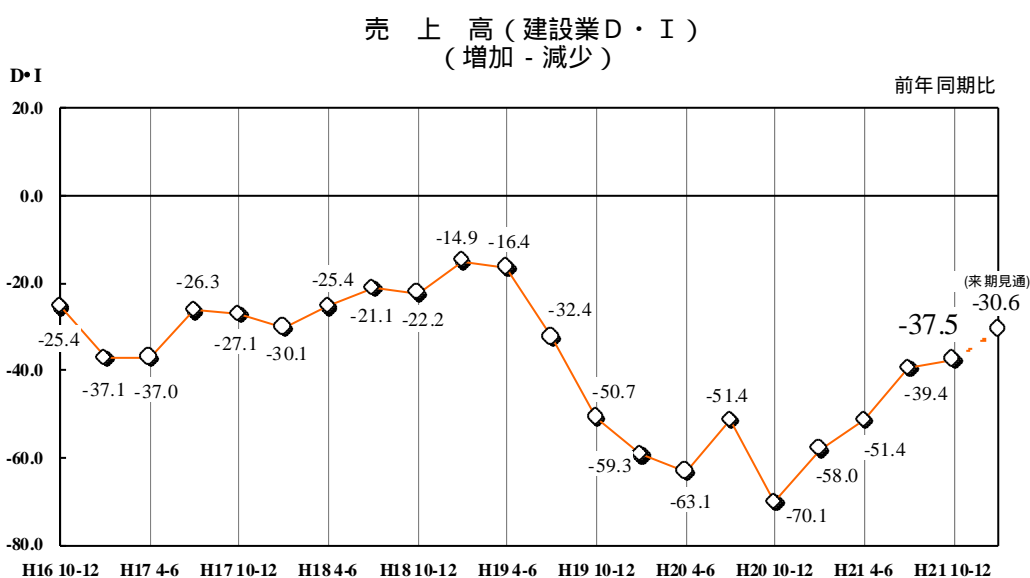
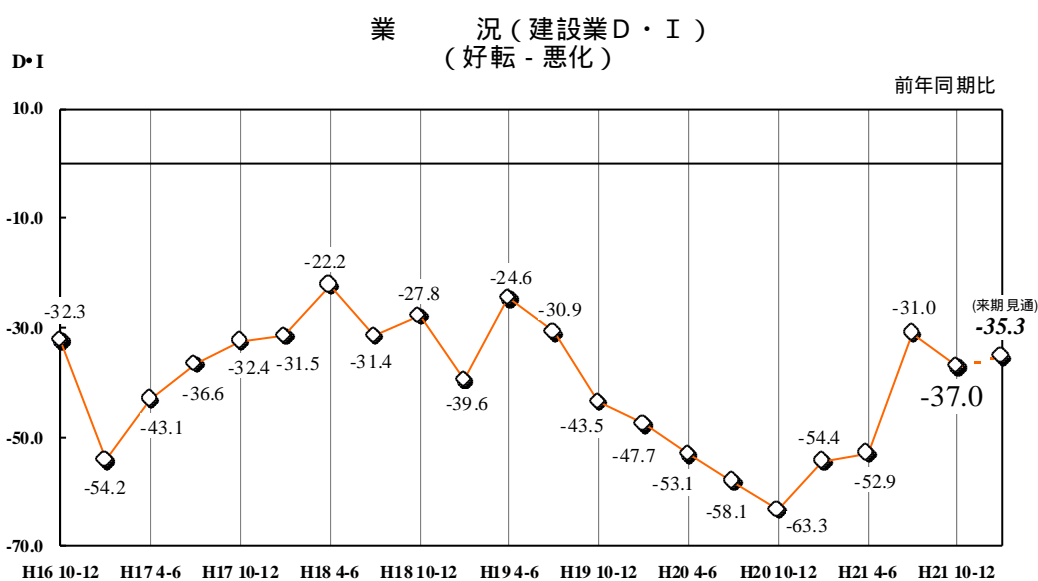
経営上の問題点



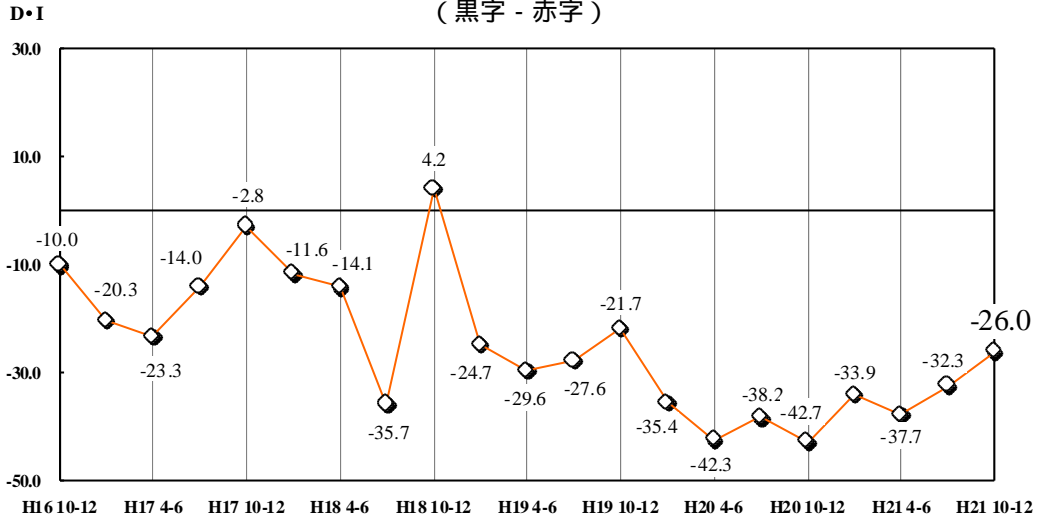
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	37.7	27.6	35.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	3.7	14.6 (今期比)
短期 〃	-----	2.0	14.0 (今期比)
設 備 操 業 率	35.6	-----	44.9 (前年同期比)

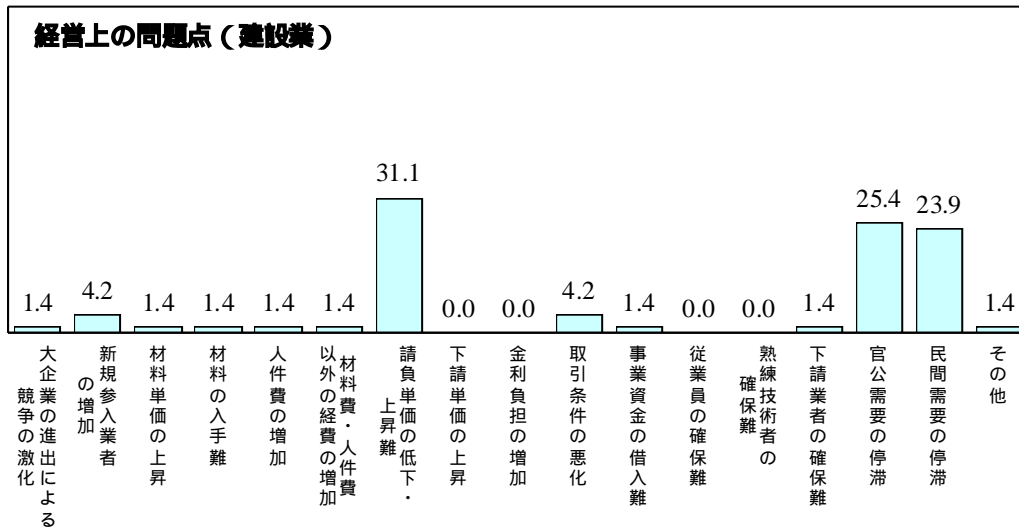
(2) 建 設 業



採 算 (建設業 D・I)  
(黒字 - 赤字)



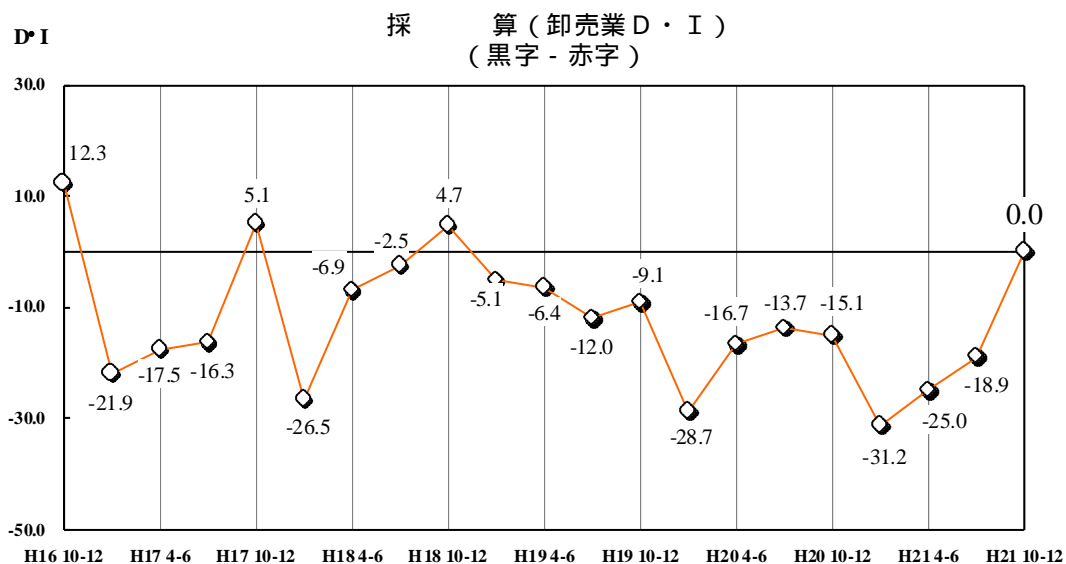
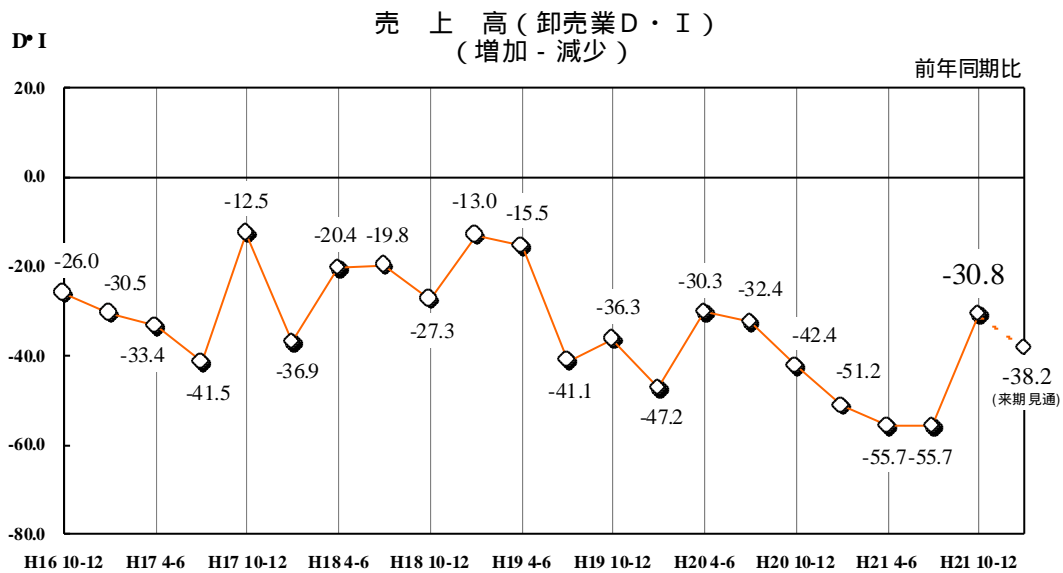
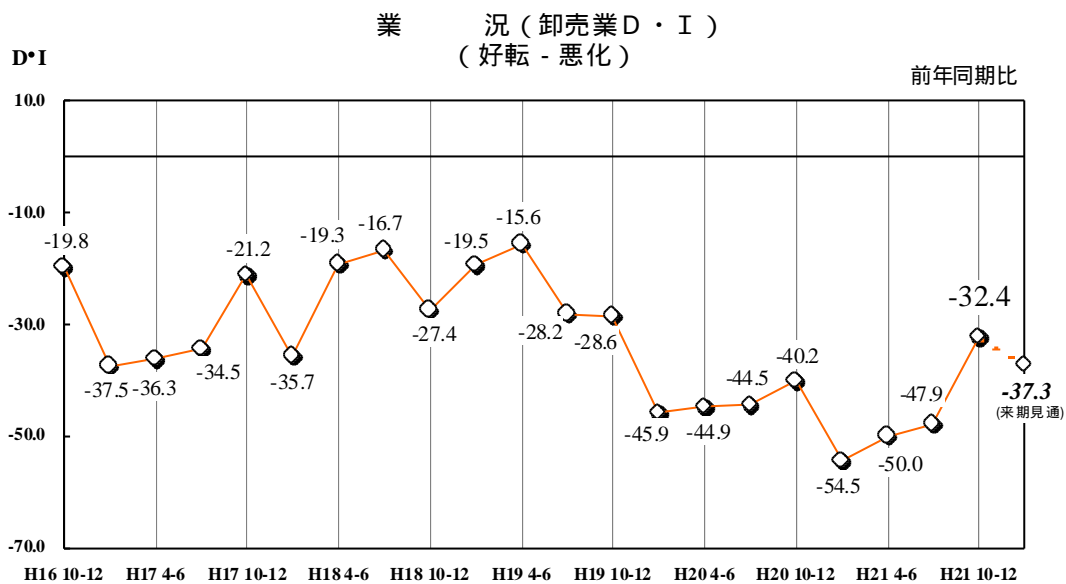
経営上の問題点



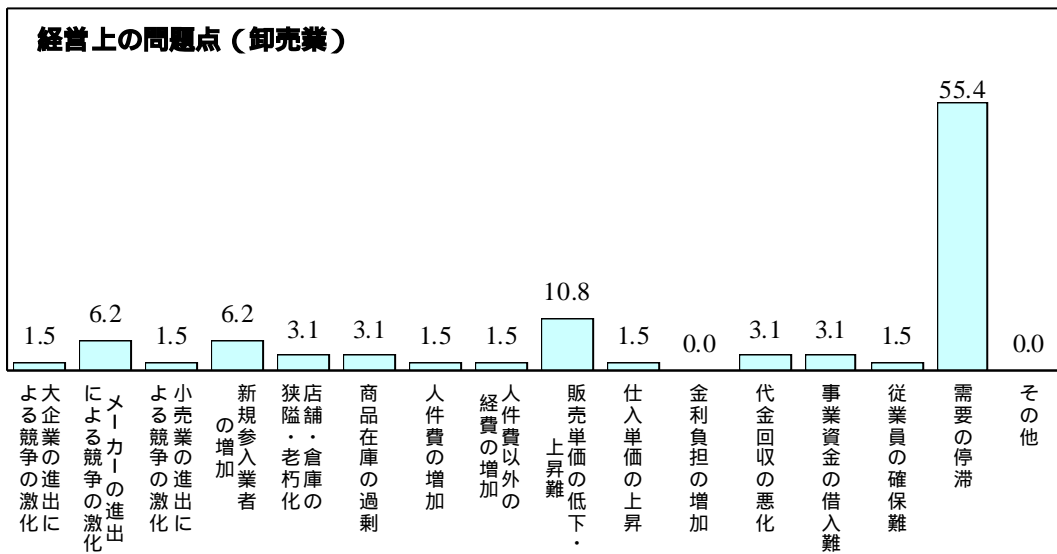
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	19.7	20.0	24.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	10.9	11.1 (今期比)
短期 "	-----	6.4	6.5 (今期比)
受注(新規契約工事)額	42.5	-----	38.4 (前年同期比)

### (3) 卸 売 業



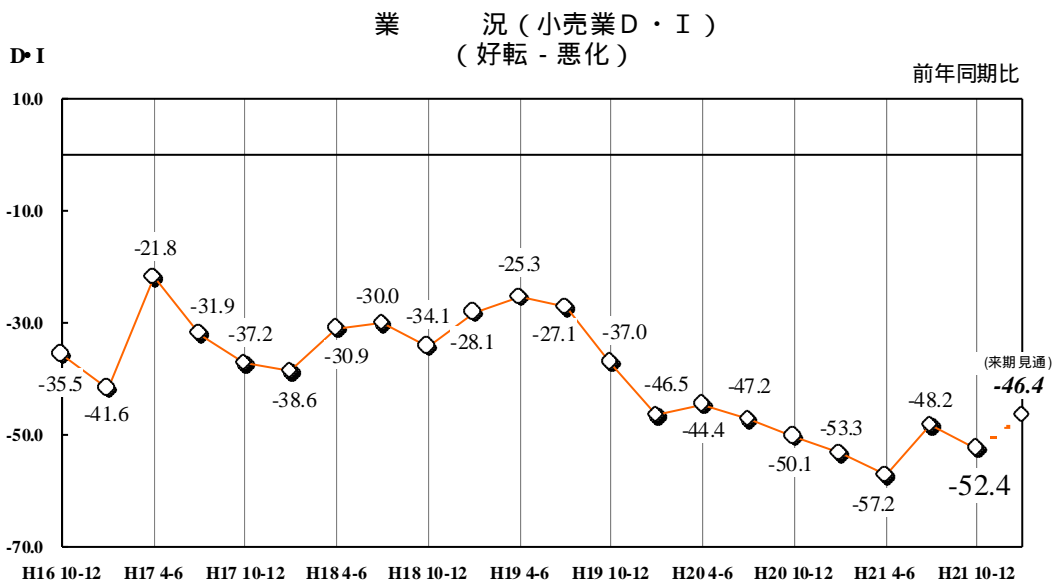
## 経営上の問題点

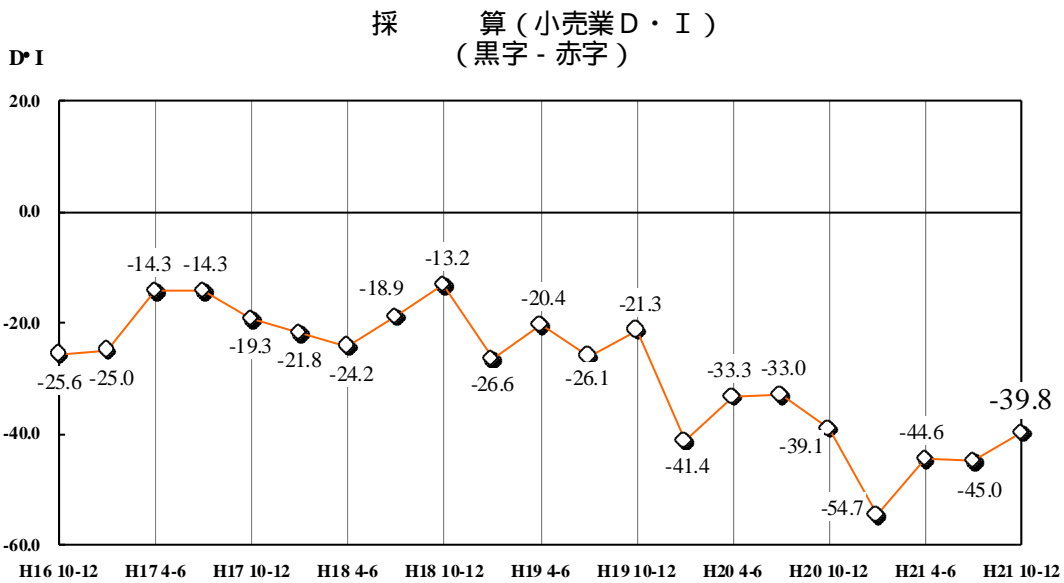
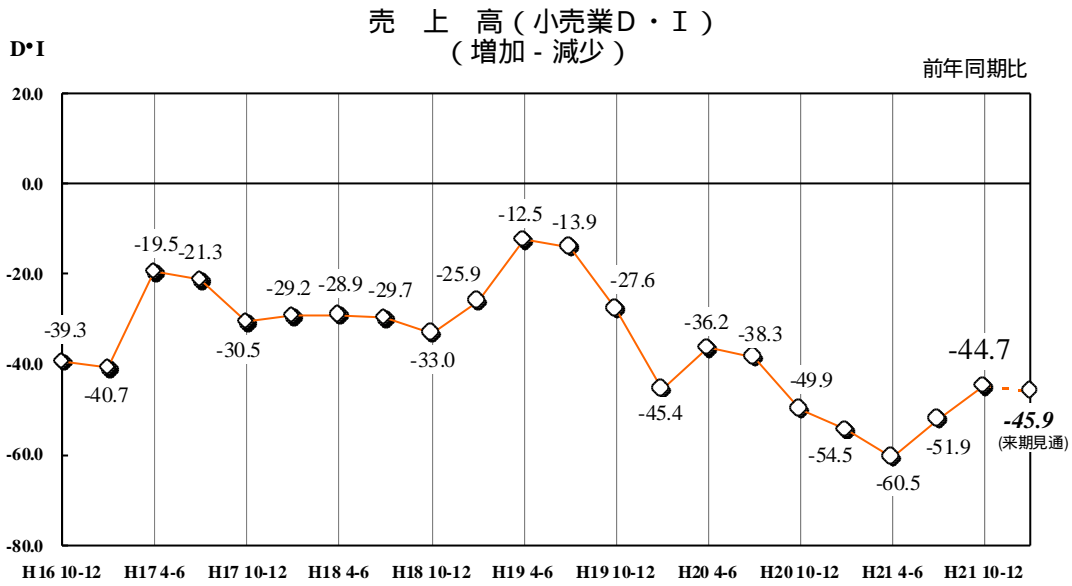


## その他（D・I値）

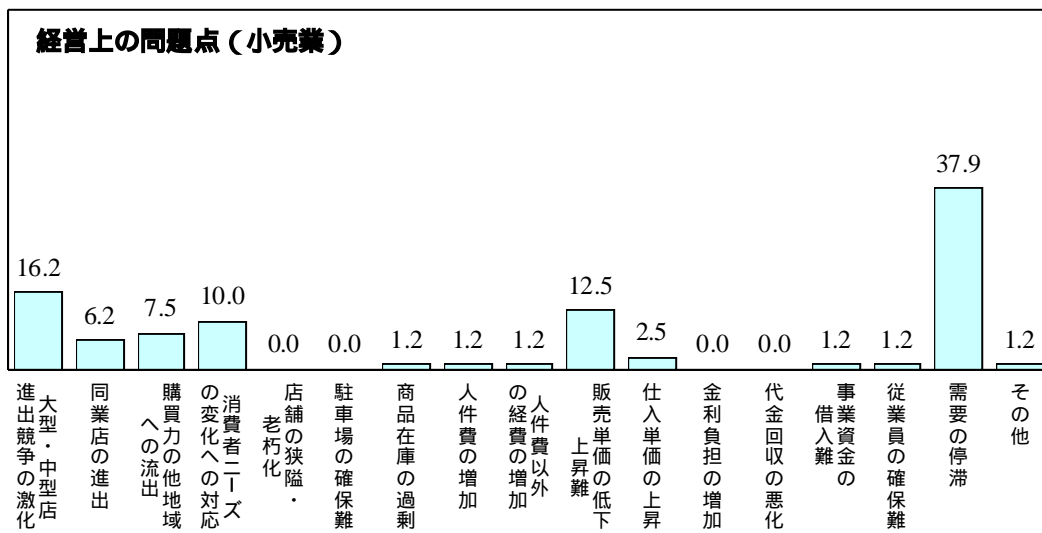
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	23.5	20.6	20.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	11.5	13.1 (今期比)
短期 "	-----	8.5	8.5 (今期比)
商品在庫数量	19.1	-----	23.5 (前年同期比)

## (4) 小 売 業





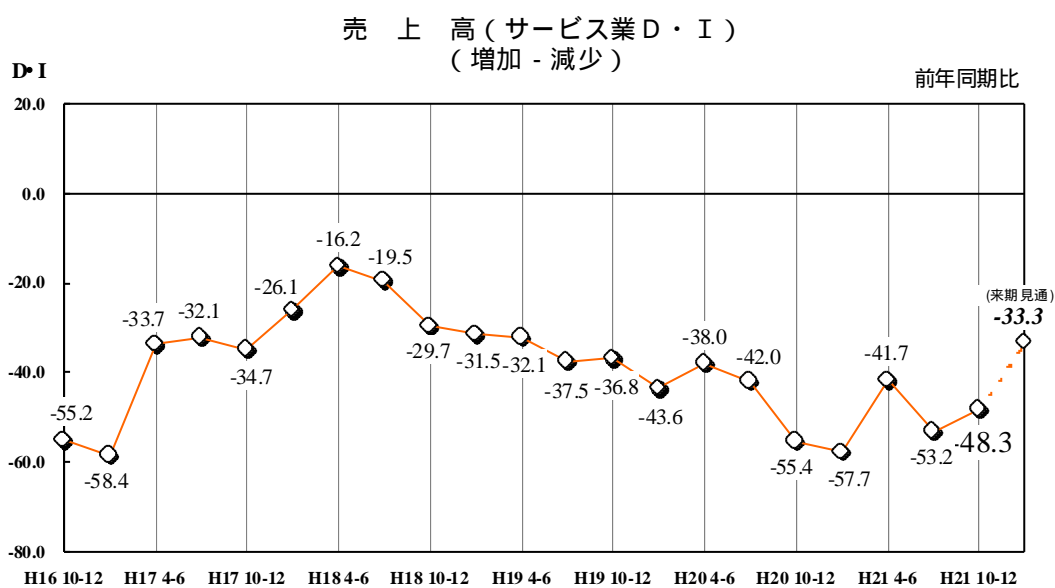
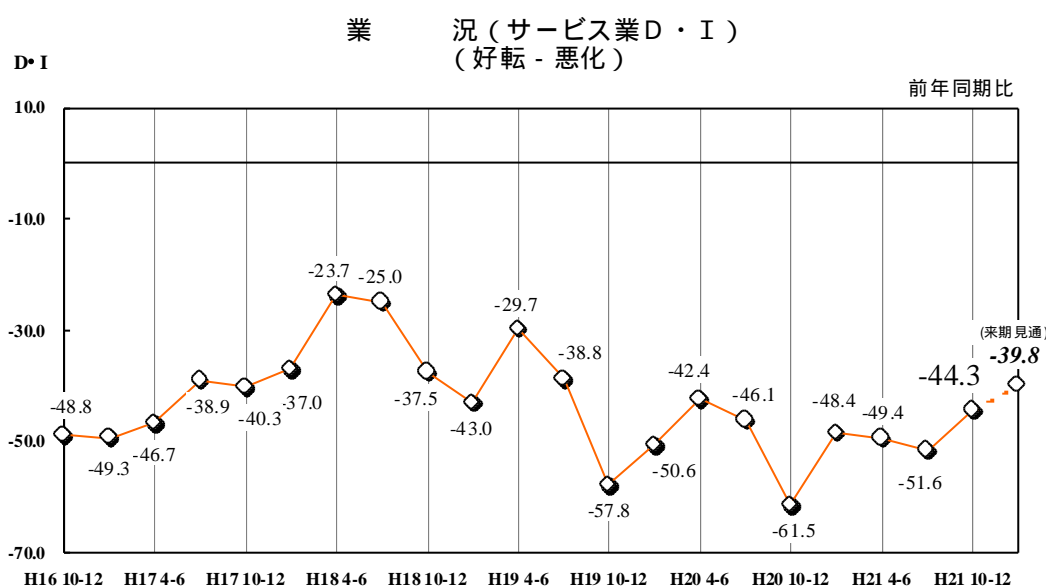
## 経営上の問題点



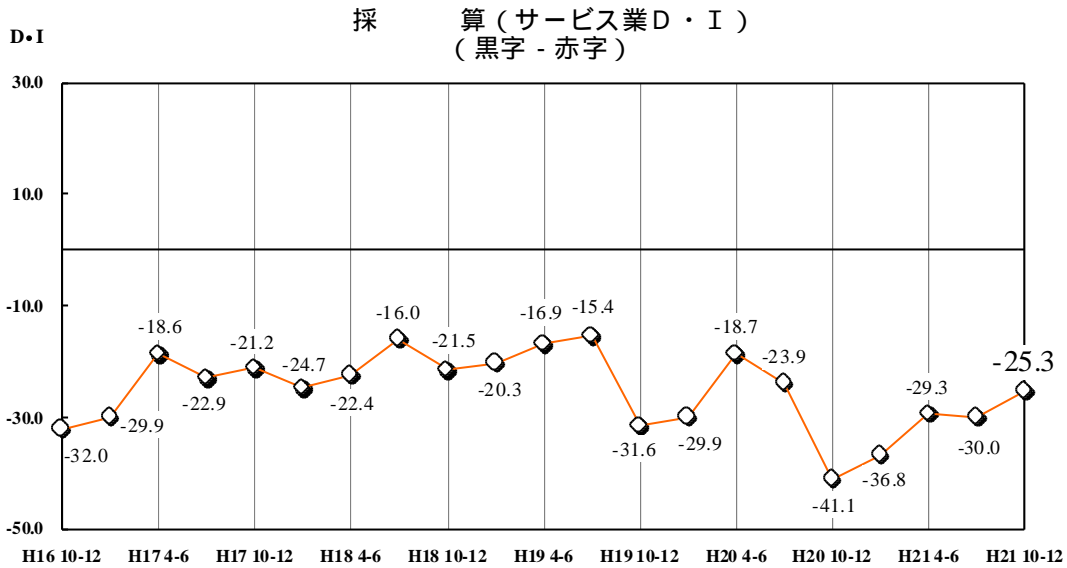
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	39.0	33.7	48.2 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	19.4	25.0 (今期比)
短期 "	-----	13.4	15.0 (今期比)
商品在庫数量	29.0	-----	30.1 (前年同期比)

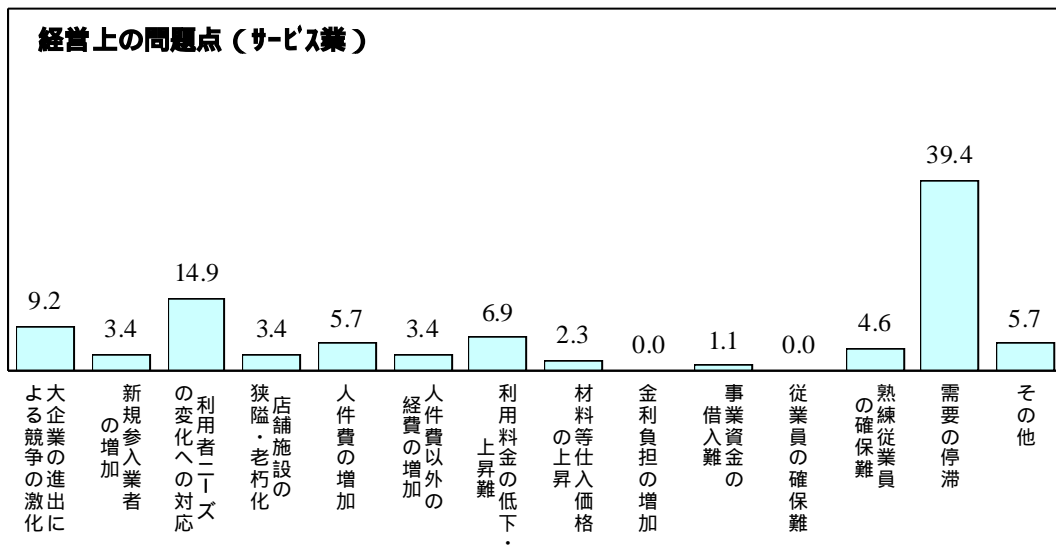
(5) サービス業







### 経営上の問題点



### その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	33.0	27.9	29.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	27.8	32.0 (今期比)
短期 "	-----	21.3	25.6 (今期比)
利 用 客 数	46.0	36.0	32.6 (前年同期比)

# 業種別調査資料

## 1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成21年10月~12月)の水準			D・I
業況(自社)	13.1	26.2	60.7	-47.6
生産に対する原材料在庫	1.8	92.9	5.3	-3.5
売上に対する製品在庫	3.8	92.4	3.8	0.0
採算(経常利益)	11.5	52.4	36.1	-24.6
引合	12.3	40.4	47.3	-35.0
生産設備	8.5	79.6	11.9	-3.4
従業員(含臨時・パート)	16.4	82.0	1.6	14.8

▲: 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ふつう、適正、収支トントン  
 ▼: 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成20年10月~12月)に比べて				前期(平成21年7月~9月)に比べて				前年同期(平成20年10月~12月)と比べた 来期(平成22年1月~3月)の見通し			
				D・I				D・I				D・I
A 売上(加工)額	16.1	22.6	61.3	-45.2	26.7	21.7	51.6	-24.9	13.1	29.5	57.4	-44.3
B 売上(加工)単価	0.0	59.7	40.3	-40.3	3.4	69.5	27.1	-23.7	1.6	67.3	31.1	-29.5
C 売上(加工)数量	16.1	19.4	64.5	-48.4	28.8	22.0	49.2	-20.4	9.8	31.1	59.1	-49.3
D 資金繰り	4.9	52.5	42.6	-37.7	5.2	62.0	32.8	-27.6	5.0	55.0	40.0	-35.0
E 輸出入額	0.0	88.9	11.1	-11.1					0.0	87.5	12.5	-12.5
F 原材料仕入単価	30.0	58.3	11.7	18.3					30.5	54.2	15.3	15.2
G 原材料在庫数量	6.9	72.4	20.7	-13.8					3.5	70.2	26.3	-22.8
H 製品在庫数量	7.8	56.9	35.3	-27.5					4.0	58.0	38.0	-34.0
I 採算(経常利益)	14.5	32.3	53.2	-38.7					9.8	34.4	55.8	-46.0
J 従業員(含臨時・パート)	5.0	70.0	25.0	-20.0					3.4	75.9	20.7	-17.3
K 外部人材(請負・派遣)	3.2	77.4	19.4	-16.2					3.3	80.0	16.7	-13.4
L 設備稼働率	5.1	54.2	40.7	-36.6					1.7	51.7	46.6	-44.9
M 引合	13.8	37.9	48.3	-34.5								
N 受注残	1.8	54.6	43.6	-41.8								
	13.1	36.1	50.8	-37.7	13.8	43.1	43.1	-29.3	7.1	42.9	50.0	-42.9
O 業況(自社)	前年同期(平成20年10月~12月)に比べて				前期(平成21年7月~9月)に比べて				今期(平成21年10月~12月)と比べた 来期(平成22年1月~3月)の見通し			
									4.9	44.3	50.8	-45.9
P 受取手形期間					2.4	97.6	0.0	2.4	2.4	95.2	2.4	0.0
Q 長期資金借入難度					9.3	77.7	13.0	-3.7	3.6	78.2	18.2	-14.6
R 短期資金借入難度(含手形割引)					8.2	81.6	10.2	-2.0	2.0	82.0	16.0	-14.0
S 借入金利息					3.6	89.1	7.3	-3.7	3.6	91.0	5.4	-1.8

▲: 増加 ▲: 上昇 ▲: 好転 ▲: 長期化 ▲: 容易  
 - : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) - : 不変(B, F, L, S) - : 不変(D, I, O) - : 不変(P) - : 不変(Q, R)  
 ▼: 減少 ▼: 低下 ▼: 悪化 ▼: 短期化 ▼: 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区分	実施・計画している									実施・計画していない
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	19.4	0.0	0.0	50.0	33.3	8.3	25.0	0.0	8.3	80.6
来期	6.5	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	93.5

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問題点	1位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	0.0	14.3
新規参入業者の増加	0.0	0.0
製品ニーズの変化への対応	7.1	16.1
生産設備の不足・老朽化	3.6	16.1
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	7.1	25.0
原材料料の不足	3.6	5.4
人件費の増加	0.0	7.1
原材料費・人件費以外の経費の増加	1.8	7.1
製品(加工)単価の低下・上昇難	12.5	58.9
金利負担の増加	0.0	1.8
取引条件の悪化	1.8	12.5
事業資金の借入難	1.8	8.9
従業員の確保難	1.8	3.6
熟練技術者の確保難	3.6	7.1
需要の停滞	51.7	67.9
その他	3.6	5.4

## 2. 建設業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成21年 10月～12月)の水準			
	今	期	平	D・I
業 況(自 社)	6.8	32.9	60.3	-53.5
採 算(経常利益)	11.0	52.0	37.0	-26.0
引 合	4.6	44.6	50.8	-46.2
従 業 員(含臨時・パート)	13.9	75.0	11.1	2.8

▲：良い、過剰、黒字、活発  
 -：ふつう、適正、収支トントン  
 ▼：悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 10月～12月)に比べて				前期(平成21年7月～9月)に比べて				前年同期(平成20年10月～12月)と比べた 来 期(平成22年 1月～3月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	同	D・I	前	年	同	D・I
A 完成工事(請負工事)額	15.3	31.9	52.8	-37.5	21.1	38.0	40.9	-19.8	12.5	44.4	43.1	-30.6
B 資 金 繰 り	4.2	71.9	23.9	-19.7	4.3	71.4	24.3	-20.0	7.1	61.5	31.4	-24.3
C 受注(新規契約工事)額	12.3	32.9	54.8	-42.5					4.1	53.4	42.5	-38.4
D 材 料 仕 入 単 価	12.7	76.0	11.3	1.4					15.5	76.0	8.5	7.0
E 採 算(経常利益)	8.2	38.4	53.4	-45.2					5.5	47.9	46.6	-41.1
F 従 業 員(含臨時・パート)	5.5	74.0	20.5	-15.0					4.1	82.2	13.7	-9.6
G 外部人材(請負・派遣)	6.3	64.0	29.7	-23.4					1.6	71.8	26.6	-25.0
H 引 合	6.3	43.8	49.9	-43.6								
I 契約残(未消化工事高)	11.8	38.2	50.0	-38.2								
J 業 況(自 社)	8.2	46.6	45.2	-37.0	8.3	54.2	37.5	-29.2	7.0	50.7	42.3	-35.3
K 受 取 手 形 期 間					4.1	95.9	0.0	4.1	6.8	48.0	45.2	-38.4
L 長 期 資 金 借 入 難 度					6.3	76.5	17.2	-10.9	2.1	97.9	0.0	2.1
M 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					8.1	77.4	14.5	-6.4	1.6	85.7	12.7	-11.1
N 借 入 金 利					7.8	89.1	3.1	4.7	6.6	80.3	13.1	-6.5
									6.3	93.7	0.0	6.3

▲：増加 ▲：上昇 ▲：好転 ▲：長期化 ▲：容易  
 -：不変(A, C, F, G, H, I) -：不変(D, N) -：不変(B, E, J) -：不変(K) -：不変(L, M)  
 ▼：減少 ▼：低下 ▼：悪化 ▼：短期化 ▼：困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	12.3	11.1	0.0	22.2	44.4	11.1	33.3	0.0	0.0	87.7
来 期	8.2	16.7	16.7	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	91.8

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3 位
大企業の進出による競争の激化	1.4	12.7
新規参入業者の増加	4.2	11.3
材料単価の上昇	1.4	11.3
材料の入手難	1.4	1.4
人件費の増加	1.4	4.2
材料費・人件費以外の経費の増加	1.4	5.6
請負単価の低下・上昇難	31.1	64.8
下請単価の上昇	0.0	1.4
金利負担の増加	0.0	4.2
取引条件の悪化	4.2	15.5
事業資金の借入難	1.4	5.6
従業員の確保難	0.0	4.2
熟練技術者の確保難	0.0	7.0
下請業者の確保難	1.4	8.5
官公需要の停滞	25.4	53.5
民間需要の停滞	23.9	66.2
そ の 他	1.4	1.4

### 3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成21年 10月~12月)の水準			
	今	期	前	D・I
業 況(自 社)	13.6	40.9	45.5	-31.9
売 上 対 する 商 品 在 庫	14.9	83.6	1.5	13.4
採 算(経常利益)	22.4	55.2	22.4	0.0
引 合	10.8	40.0	49.2	-38.4
従 業 員(含臨時・パート)	4.6	87.7	7.7	-3.1

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 10月~12月)に比べて				前期(平成21年7月~9月)に比べて				前年同期(平成20年10月~12月)と比べた 来 期(平成22年 1月~3月)の見通し			
	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I
A 売 上 額	22.1	25.0	52.9	-30.8	36.8	23.5	39.7	-2.9	10.3	41.2	48.5	-38.2
B 売 上 単 価	5.9	60.3	33.8	-27.9	7.4	67.6	25.0	-17.6	0.0	72.1	27.9	-27.9
C 資 金 繰 り	4.4	67.7	27.9	-23.5	4.4	70.6	25.0	-20.6	2.9	73.6	23.5	-20.6
D 商 品 仕 入 単 価	22.1	51.4	26.5	-4.4					11.8	70.6	17.6	-5.8
E 商 品 仕 入 数 量	16.2	39.7	44.1	-27.9					10.3	48.5	41.2	-30.9
F 商 品 在 庫 数 量	11.8	57.3	30.9	-19.1					7.4	61.7	30.9	-23.5
G 採 算(経常利益)	8.8	48.6	42.6	-33.8					8.8	53.0	38.2	-29.4
H 従 業 員(含臨時・パート)	7.7	73.8	18.5	-10.8					4.5	86.4	9.1	-4.6
I 外 部 人 材(請負・派遣)	2.2	84.8	13.0	-10.8					0.0	89.1	10.9	-10.9
J 引 合	18.2	40.9	40.9	-22.7								
K 業 況(自 社)	8.8	50.0	41.2	-32.4	10.6	59.1	30.3	-19.7	7.5	47.7	44.8	-37.3
	前年同期(平成20年 10月~12月)に比べて				前期(平成21年7月~9月)に比べて				今 期(平成21年10月~12月)と比べた 来 期(平成22年 1月~3月)の見通し			
L 受 取 手 形 期 間					4.3	95.7	0.0	4.3	0.0	95.8	4.2	-4.2
M 長 期 資 金 借 入 難 度					4.9	78.7	16.4	-11.5	3.3	80.3	16.4	-13.1
N 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					5.1	81.3	13.6	-8.5	5.1	81.3	13.6	-8.5
O 借 入 金 利					9.5	87.3	3.2	6.3	7.9	88.9	3.2	4.7

↗ : 増加  
 - : 不変(A, E, F, H, I, J)  
 ↘ : 減少  
 ↗ : 上昇  
 - : 不変(B, D, O)  
 ↘ : 低下  
 ↗ : 好転  
 - : 不変(C, G, K)  
 ↘ : 悪化  
 ↗ : 長期化  
 - : 不変(L)  
 ↘ : 短期化  
 ↗ : 容易  
 - : 不変(M, N)  
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	倉 庫	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	11.8	0.0	12.5	12.5	62.5	0.0	50.0	0.0	12.5	88.2
来 期	7.6	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	20.0	92.4

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1~3 位
大企業の進出による競争の激化	1.5	3.1
メーカーの進出による競争の激化	6.2	10.8
小売業の進出による競争の激化	1.5	9.2
新規参入業者の増加	6.2	10.8
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3.1	4.6
商品在庫の過剰	3.1	10.8
人件費の増加	1.5	3.1
人件費以外の経費の増加	1.5	10.8
販売単価の低下・上昇難	10.8	43.1
仕入単価の上昇	1.5	7.7
金 利 負 担 の 増 加	0.0	4.6
代 金 回 収 の 悪 化	3.1	16.9
事業資金の借入難	3.1	10.8
従業員確保難	1.5	6.2
需 要 の 停 滞	55.4	87.7
そ の 他	0.0	1.5

## 4.小 売 業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成21年 10月~12月)の水準			
	今	期	前	D・I
業 況(自 社)	8.4	31.3	60.3	-51.9
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	22.9	65.1	12.0	10.9
採 算(経常利益)	9.6	41.0	49.4	-39.8
従 業 員(含臨時・パート)	10.5	84.2	5.3	5.2

▲ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつう、適正、収支トントン  
 ▼ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 10月~12月)に比べて				前期(平成21年7月~9月)に比べて				前年同期(平成20年10月~12月)と比べた 来 期(平成22年 1月~3月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	同	D・I	前	年	同	D・I
A 売 上 額	12.0	31.3	56.7	-44.7	19.3	31.3	49.4	-30.1	10.8	32.5	56.7	-45.9
B 客 単 価	2.4	50.0	47.6	-45.2	8.5	48.8	42.7	-34.2	6.0	49.4	44.6	-38.6
C 客 数	7.3	36.6	56.1	-48.8	13.3	33.7	53.0	-39.7	7.2	36.1	56.7	-49.5
D 資 金 繰 り	0.0	61.0	39.0	-39.0	2.4	61.5	36.1	-33.7	1.2	49.4	49.4	-48.2
E 商 品 仕 入 単 価	11.0	63.4	25.6	-14.6					8.5	74.4	17.1	-8.6
F 商 品 仕 入 額	11.1	43.2	45.7	-34.6					7.4	48.2	44.4	-37.0
G 商 品 在 庫 数 量	9.6	51.8	38.6	-29.0					6.0	57.9	36.1	-30.1
H 採 算(経常利益)	3.7	40.2	56.1	-52.4					2.5	43.2	54.3	-51.8
I 従 業 員(含臨時・パート)	0.0	94.7	5.3	-5.3					1.3	93.4	5.3	-4.0
J 外 部 人 材(請負・派遣)	0.0	91.8	8.2	-8.2					0.0	91.7	8.3	-8.3
K 業 況(自 社)	前年同期(平成20年 10月~12月)に比べて				前期(平成21年7月~9月)に比べて				今 期(平成21年10月~12月)と比べた 来 期(平成22年 1月~3月)の見通し			
	4.9	37.8	57.3	-52.4	6.4	42.3	51.3	-44.9	2.4	48.8	48.8	-46.4
L 長 期 資 金 借 入 難 度					2.8	75.0	22.2	-19.4	1.4	72.2	26.4	-25.0
M 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					3.3	80.0	16.7	-13.4	1.7	81.6	16.7	-15.0
N 借 入 金 利					5.7	88.6	5.7	0.0	4.3	91.4	4.3	0.0

▲ : 増加 ▲ : 上昇 ▲ : 好転 ▲ : 容易  
 - : 不変(A, C, F, G, I, J) - : 不変(B, E, N) - : 不変(D, H, K) - : 不変(L, M)  
 ▼ : 減少 ▼ : 低下 ▼ : 悪化 ▼ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 設 施	O A 機 器	福 利 厚 生 設 施	そ の 他	
今 期	3.7	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	96.3
来 期	4.9	0.0	50.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	95.1

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1~3 位
大・中型店の進出による競争の激化	16.2	36.2
同 業 者 の 進 出	6.2	18.8
購 買 力 の 他 地 域 へ の 流 出	7.5	22.5
消 費 者 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	10.0	36.2
店 舗 の 狭 隘・老 朽 化	0.0	2.5
駐 車 場 の 確 保 難	0.0	5.0
商 品 在 庫 の 過 剰	1.2	7.5
人 件 費 の 増 加	1.2	3.8
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	1.2	8.8
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	12.5	38.8
仕 入 単 価 の 上 昇	2.5	7.5
金 利 負 担 の 増 加	0.0	2.5
代 金 回 収 の 悪 化	0.0	8.8
事 業 資 金 の 借 入 難	1.2	8.8
従 業 員 の 確 保 難	1.2	2.5
需 要 の 停 滞	37.9	65.0
そ の 他	1.2	2.5

## 5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成21年 10月~12月)の水準				D・I
	今	期	前	期	
業 況 (自 社)	5.7	44.3	50.0	-44.3	
採 算 (経常利益)	10.3	54.1	35.6	-25.3	
従 業 員 (含臨時・パート)	7.6	83.5	8.9	-1.3	

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 10月~12月)に比べて				前期(平成21年7月~9月)に比べて				前年同期(平成20年10月~12月)と比べた 来 期(平成22年 1月~3月)の見通し			
	前	年	同	期	前	期	前	期	前	年	同	期
A 売 上 ( 収 入 ) 額	7.7	36.3	56.0	-48.3	13.3	40.0	46.7	-33.4	8.9	48.9	42.2	-33.3
B 客 単 価	4.5	66.3	29.2	-24.7	6.7	61.8	31.5	-24.8	0.0	76.1	23.9	-23.9
C 利 用 客 数	4.6	44.8	50.6	-46.0	10.5	43.0	46.5	-36.0	5.8	55.8	38.4	-32.6
D 資 金 繰 り	3.4	60.2	36.4	-33.0	5.8	60.5	33.7	-27.9	2.3	65.5	32.2	-29.9
E 仕 入 単 価 ( 材 料 等 )	25.9	65.9	8.2	17.7					22.6	72.6	4.8	17.8
F 採 算 ( 経 常 利 益 )	8.9	44.4	46.7	-37.8					5.6	46.1	48.3	-42.7
G 従 業 員 ( 含 臨 時 ・ パ ー ト )	7.4	72.8	19.8	-12.4					6.3	76.2	17.5	-11.2
H 外 部 人 材 ( 請 負 ・ 派 遣 )	1.8	84.2	14.0	-12.2					3.4	88.0	8.6	-5.2
I 業 況 ( 自 社 )	9.1	37.5	53.4	-44.3	11.8	41.2	47.0	-35.2	7.2	45.8	47.0	-39.8
L 長 期 資 金 借 入 難 度					5.1	62.0	32.9	-27.8	2.6	62.8	34.6	-32.0
M 短 期 資 金 借 入 難 度 ( 含 手 形 割 引 )					4.0	70.7	25.3	-21.3	4.1	66.2	29.7	-25.6
N 借 入 金 利					5.4	85.1	9.5	-4.1	6.8	82.2	11.0	-4.2

↗ : 増加  
 - : 不変 (A, C, G, H)  
 ↘ : 減少  
 ↗ : 上昇  
 - : 不変 (B, E, N)  
 ↘ : 低下  
 ↗ : 好転  
 - : 不変 (D, F, I)  
 ↘ : 悪化  
 ↗ : 容易  
 - : 不変 (L, M)  
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	建 物	サービス設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	22.0	10.0	10.0	25.0	35.0	25.0	25.0	0.0	5.0	78.0
来 期	7.8	0.0	28.6	57.1	14.3	28.6	42.9	28.6	28.6	92.2

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	9.2	2.3
新規参入業者の増加	3.4	1.1
利用者ニーズの変化への対応	14.9	11.5
店舗施設の狭隘・老朽化	3.4	4.6
人件費の増加	5.7	5.7
人件費以外の経費の増加	3.4	4.6
利用料金の低下・上昇難	6.9	10.3
材料等仕入単価の上昇	2.3	6.9
金利負担の増加	0.0	2.3
事業資金の借入難	1.1	1.1
従業員の確保難	0.0	1.1
熟練従業員の確保難	4.6	5.7
需要の停滞	39.4	11.5
その他	5.7	3.4

